週刊 YEAR BOOK

1983
昭和58年

日録20世紀

3|31
平成10年3月31日発行
(毎週1回発行)第2巻第12号
¥560
講談社

犠牲者269人!
大韓航空機007便撃墜される

教師を殴る蹴る……
「荒れる教室」の実態

視聴率62.9パーセント!
ドラマ「おしん」大人気

東京ディズニーランド誕生!

年間1000万人以上が殺到するテーマパーク 「住」より「遊」へ、日本人の意識も変わった 「夢と魔法」の東京ディズニーランド誕生!

▼4月15日朝、ワールドバザール通りで、ドナルド・ダック、ミッキー・マウス、ミニーらと開園のテープカットをするK・ウォーカー会長と高橋政知社長。 時事通信社

昭和五八年四月、日本最大のテーマパーク、東京ディズニーランドがオープンした。開園前には、前途をあやぶむ声もささやかれたが、実際には年間一〇〇〇万人を超える集客力を見せ、大成功をおさめる。その成功の裏には、高度成長にかげりが見えた世相を反映して、日本人のレジャー志向の変化があったのである。

雨天にもかかわらず 初日は一万人が来園

約二六〇人の取材陣を前に、日本人とアメリカ人、ミッキー・マウスなどおなじみのディズニー・キャラクターらが、ステージで満面に笑みを浮かべていた。

昭和五八年四月一五日午前八時半、東京ディズニーランド（TDL）のオープニングセレモニーでの一場面だ。日本人とは、TDLの経営会社、オリエンタルランド社長の高橋政知（六九）、アメリカ人とは、ウォルト・ディズニー・プロダクションズ会長のカードン・ウォーカーである。

平日の早朝、しかも激しい雨にもかかわらず、千葉県浦安市の敷地にはおよそ三〇〇〇人が詰めかけ、長蛇の列を作っていた。来園者には家族連れやカップルが多く、中には大阪、長崎、秋田など地方からやって来た人や、前夜からの徹夜組も含まれていた。

テープカットと同時に、大空へ無数の白い鳩と一万個ものカラフルな風船が舞い上がり、待ちわびた来園者が一斉に園内へとなだれこんだのである。

正面ゲートをくぐると、一九世紀末の

◎表紙 4月4日、NHK朝のテレビ小説「おしん」がスタート。小林綾子が演じた「少女編」が話題を呼んだ。 NHK提供

▲TDLのほぼ中央に位置するシンデレラ城。ファンタジーランドに含まれるこの城のアトラクションは、「シンデレラ城ミステリーツアー」。 ©Disney Enterprises,Inc.(3点とも)

▶民族衣装を着た世界中の子どもたちが、「世界はひとつ」を歌い、踊る中を、ボートで見てまわる「イッツ・ア・スモールワールド」。やはりファンタジーランドに属する、子どもに大人気のアトラクション。

年間1000万人以上が殺到するテーマパーク
「住」より「遊」へ、日本人の意識も変わった
「夢と魔法」の東京ディズニーランド誕生！

▲土産物店では、ディズニー・キャラクターを使用した衣料品、アクセサリー、時計、ぬいぐるみなどに人気が集まる。

時事通信社

ビクトリア王朝風の建物を模した「ワールドバザール」と呼ばれる洒落た街並みが続く。その前方には高さ五一メートルの「シンデレラ城」がそびえ、そのまわりを冒険・開拓・不思議・未来の四つのテーマパークが取り囲み、「ジャングルクルーズ」「ホーンテッドマンション」など三二の施設が点在している。総面積約八二万六〇〇〇平方メートル。東京ドーム約一八個分の広さを持ち、総工費一八〇〇億円、完成までに二年を要した。

初日で二万人の来園者を集めたTDLだが、オープンまでには幾多の苦労に見舞われた。たとえば、提携に際し、米国ディズニー社が提示した契約条件に日本側は当惑した。入園料収入の一〇パーセントのロイヤリティと、五〇年の長期契約を要求してきたからだ。一時は、色をなしたオリエンタルランドの親会社・三井不動産が、提携打ち切りを通告するほどゆき詰まったこともあった。高橋自身、「たしかに高すぎ、長すぎると思った」と回想しているが、「今さらやめられない」と交渉を続行。結局、入園料の一〇パーセントのロイヤリティ、四五年契約で決着した。

▲オープン当日、ミッキー・マウスを間にはさんで記念撮影する入園者たち。　時事通信社

さらに、オープン前には「うまくいかないのでは」という声が高まった。「アメリカンスタイルそのままでは、日本では受け入れられない」「食べ物の持ちこみ禁止、飲酒禁止がおとなの反感を買う」「料金が高すぎる（入園料と施設使用料がセットで、一日おとな三九〇〇円）」などが指摘され、時期尚早ではとあやぶまれたのである。

しかし、ふたを開けてみると、TDLは、関係者の予想をも上回る集客力を発揮する。一年で一〇三六万人が来園し、その後も、毎年一〇〇〇万人以上の来園者を集め続けた。戦後、一〇〇〇万人以上の集客を達成したのは、東京オリンピックと大阪万国博、ポートピア（神戸博）だけ。しかもこれらは単発のイベントでしかなかった。

TDLは、それぞれの建物に資金をおしまず投入し、スタッフには徹底的にマニュアルをたたきこみ、「おとなまで、異世界に入りこんだと錯覚させる」魅力を持たせた。おとなも子ども一緒に楽しめる遊園地という、まったく新しいコンセプトが、高い支持を集めたのだ。夕方ともなれば、土産物店に客が殺到し、ぬいぐるみやバッジなどを争って買い求め、レジには長い行列ができた。

TDLがもたらしたインパクトも、はんぱではない。三菱総合研究所の調査によれば、オープン前後のTDLの支出規模は約四二〇〇億円。誘発された生産額は一兆四八三五億円に達した。これは、昭和五八年度の千葉県の経済規模の六・三パーセントに相当する。また、約一〇万二九二八人の雇用機会を創出したとも言われたのである。

ARCHIVE PHOTOS　アメリカンフォト・ライブラリー

▲1955年、長年の夢だった巨大な遊園地建設の構想を、イラストを使って説明するウォルト・ディズニー。

日本人の志向の変化がTDLの成功を後押し

『東京ディズニーランド　驚異の経営マジック』（講談社）の著者・小宮和行氏は、予想をはるかに上回るTDLの成功について「天・地・人の三拍子がそろっていた」と言う。人とは、ディズニーランド実現に終始、先頭に立っていた高橋政知の存在。地とは、ウォーカーが「ワンダフル」を連発した、東京に近い浦安というロケーション。そして、「天とは日本人の余暇・レジャーに対する志向の変化とタイミングが合ったこと」だと語る。

日本人の意識の変化は、総理府広報室の「国民生活に関する世論調査」（昭和五八年）に端的に現れている。「今後の生活の力点をどこにおくか？」に対して、それまで常に一位を守ってきた「住生活」（二五・二パーセント）を「レジャー・余暇生活」（二六・二パーセント）が抜いて初めてトップに立ったのが、この年なのだ。地価の高騰でマイホームをあきらめた側面もあるが、「住」より「遊」へ、人々の志向が大きく変化を見せたのである。

TDLの成功は、魅力あるアトラクションや、徹底的にマニュアル化したアメリカンスタイルの経営法にも起因する。その一方で、日本人は「仕事中毒（ワーカホリック）」から目覚めて遊びに目を向け始め、TDLというソフトを使いこなす下地ができ上がっていた。この成功は、ハウステンボス（長崎県）、スペースワールド（福岡県）、志摩スペイン村（三重県）、鎌倉シネマワールド（神奈川県）など、その後続々誕生したテーマパーク・ブームのはしりとなったのである。

1年間の入園者数は、世界で7750万人！

ディズニーランド（以下DL）は、現在、世界に4ヵ所ある。開園から40年以上の歴史を持つロサンゼルスのDLが第1号。フロリダにある、ウォルト・ディズニー・ワールドが2番目、そしてTDL、DLパリと続く。

DLパリが誕生したのは1992年のこと。誕生前後は、フランス国内から強い反発を招いた。新聞には「文化のチェルノブイリ」「米国文化による植民地化」などセンセーショナルな見出しが躍った。はては哲学者のマックス・ガロまで登場し、「ユーロ・ディズニー（当時の名称）は、欧州文化の解体を象徴し、想像力に富む個性を窒息させ、子どもをたんなる消費者にしてしまう」と痛烈に批判した。そして、開園当初はフランス人入園者の割合は、全体の4割程度だった。

しかし、DLパリは本家と違い、トム・ソーヤやカウボーイの代わりに、フランスの田園風景を登場させ、アトラクションに作家ジュール・ヴェルヌの「海底2万マイル」を採用。1993年6月からは園内の一部のレストランで、ワイン、ビールを解禁するという気のつかいようを見せた。そのためか、1996年の入園者は1000万人突破をはたした。また、同年の4つのDLの総入園者数は、7750万人を数えている。

◀入園者数を伸ばしているDLパリ。

ロイター／サンテレフォト

▶従業員は、全職種合わせて三〇〇種のマニュアルに従い、きめ細かなサービスを提供する仕組みに。

乗員・乗客二六九人が犠牲に！
問題の007便はなぜサハリン南部を飛行した
大韓航空機撃墜事件と米軍の謎の関係

「そのうち皆、忘れるさ」──大韓航空機がソ連軍戦闘機の対空ミサイルで撃墜された時、グロムイコ外相は〝ミスターニエット（ノー）〟の異名にふさわしく、そううそぶいた。二六九人もの犠牲者を出した悲劇的な事件から一五年、謎は厚いベールにおおわれたままだが、彼の予測とは裏腹に、真相追究の動きは今もやんでいない。

なぜか航路を北へ逸脱しレーダーから消えた機影

一九八三年九月一日午前四時（現地時間）、ニューヨーク発ソウル行きの大韓航空007便は、中継地のアンカレジ国際空港を離陸した。

乗客は米国の下院議員や日本人二八人を含む二四〇人で、乗員は二九人。一六ヵ国にわたる乗客の誰一人、自分の乗りこんだボーイング747―230B型が、離陸直後から航路を北へ逸脱し、極度の緊張状態が続く〝危険地域〟に向かうことになるとは思いもしなかった。

「東京国際対空通信局へ、こちらKE007便」──成田の管制通信官が同機に呼び出されたのは、離陸から約五時間後の午前三時二七分（日本時間）。管制通信官は「KE007便へ、こちらは東京国際対空通信局です」と応答したが、交信音は、雑音で聞き取れなくなり、連絡がとだえてしまう。遭難確実とされた午前六時には、海上保安庁の巡視船などが、捜索海域を根室沖に設定して出動した。

一方、防衛庁は、ソ連空軍の通信情報を日常的に傍受している北海道・稚内基地の情報と同地のレーダーを通じ、サハリン南部で午前三時二九分に消えた機影の存在をつかんでいた。一日の午前中のうちには、007機は撃墜されたという見方を固めていたのである。午後八時一五分に安倍晋太郎外相が「大韓航空機はソ連に撃墜された可能性が高い」と発言。米国も午後一一時四〇分に同機の撃墜を発表して、ソ連を強く非難する。

当事者であるソ連が公式に撃墜を認めたのは九日で、「同機は戦略核基地の上を飛び偵察行為を行った」「警告射撃も試みたが、無視して逃走したためミサイルで飛行を阻止した」というものだった。

撃墜時の様子を、問題のソ連戦闘機を操縦していたオシポビッチ元中佐（三九）は、「007便に近づき警告シグナルを点滅させたが、同機が無視したため、五〇〇発以上の機関砲を連射。尾翼とエンジンに命中した」と後に証言している。

冷戦の最中、ソ連軍の戦闘機が自由主義陣営に属する韓国の民間機を撃墜したという事実は、まさしく衝撃的だった。

▲9月4日朝、遺族はチャーターしたフェリーで稚内港を出発。遭難現場近くの洋上で花束を投じた。 三上貞幸（AP） WWP

▲9月15日、サハリン沖で海面にロープを垂らして、浮遊物を回収する航空自衛隊のヘリコプター。 共同通信社

▶飛行航路図を示す、オガルコフ・ソ連参謀総長。 ロイター・サン 共同通信社

◀9月7日、ソウル市内で、10万人を超える市民を集めて行われたソ連に対する抗議集会。

AP/WWP

浮上する「オトリ説」と口を閉ざした米国政府

元統合幕僚会議議長の竹田五郎氏は、「ソ連は対米核戦略の要所だったオホーツク海を聖域化したかったはず。実際、一九七八年の大韓航空機強制着陸事件では、不手際だった大尉が厳罰に処されています。神経過敏になっていた現場の緊張感が、偵察機と誤解しての撃墜につながったとも考えられます」と語る。

そこで問題になるのが、同機が空路から五〇〇キロ近くも北に逸脱した理由である。米ソの電子情報網や無線傍受態勢が構築された〝最前線〟に侵入すれば、撃墜される可能性があるのはパイロットの常識。それゆえ、韓国空軍出身の千炳寅機長(四五)が、なぜ乗員・乗客全員の命を奪うフライトを敢行したのかは、さまざまな憶測を呼んだ。

たとえば、米国がソ連の防空網を調べるために同機をわざと迷いこませたという「オトリ飛行説」や、ICAO(国際民間航空機関)が第一次調査報告書で記した「航法ミス説」、INS(出発前に緯度・経度などの航路データを入力すると空路を自動的に維持できる慣性航法装置)への「入力ミス説」などだ。

「羅針盤航法説」は、同機と最後まで交信していた後続機の機長が主張したもの。これは、千機長は離陸直後、乗員の操作ミスによるINSの異常に気づいた。しかし、機長の名誉を守るため引き返さず、INSを放棄して羅針盤航法を敢行したという説だ。「厳罰主義の大韓航空で始末書騒ぎになるのをおそれた結果」だという。

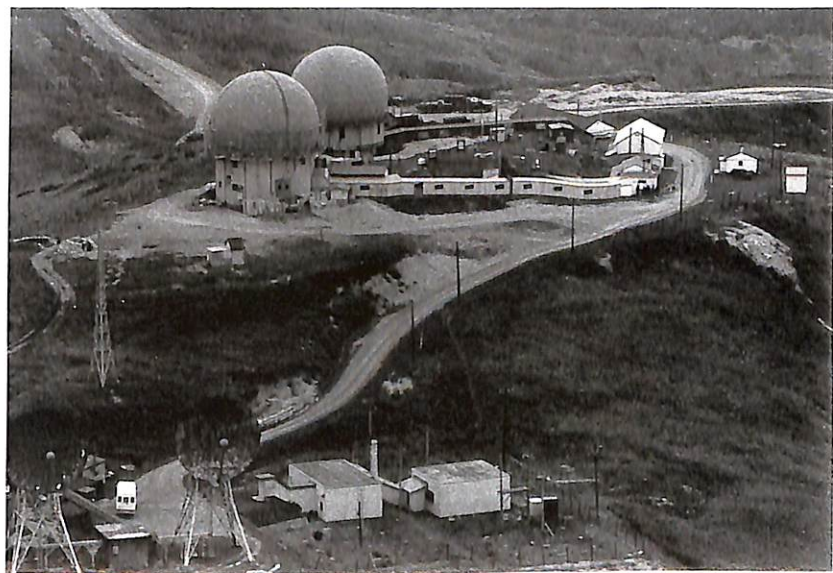
こうした諸説の中で、航空エンジニアの経験から「過失説は成立しがたい」と語るのが、日本航空の整備員で原因究明の活動を続ける杉本茂樹氏である。

「第一に、007便は故意に逸脱した可能性がかなり高い。逸脱を示す眼の前の計器に五時間も気づかない乗員など考えられないし、007便は管制官に正規ルート上にいるような位置通報も行っていた。さらに、多目に搭載された燃料、謎の交信音など不自然なことが多すぎます。日常的にこの地域を徘徊していたと言われる米国の電子偵察機・RC135が逸脱コース付近を飛行していた事実などを考え合わせると、どうみても、逸脱を知りながら飛行していたと考える方が自然です」

事件後、尾翼や座席、遺体の一部、靴や写真フィルムなどが北海道のオホーツク海沿岸に漂着。日本人遺族も稚内市に向かった。ところが、謎を解く鍵の飛行記録装置と音声記録装置は、ソ連がサハリン沖で機体とともに回収して秘匿。冷戦後の一九九三年にICAOへ引き渡され、同年六月に第二次調査報告書が発表されたが、奇妙なことに飛行記録装置は一部しか公表されず、第二次報告書発表も事件解明にはいたらなかった。

そのため、遺族らはソ連政府への抗議電報や、大韓航空相手の訴訟などによって、真相追究を訴え続けることになる。

「結局、キーマンは007便の撃墜で、ソ連軍の指揮系統や暗号解読などの〝宝の山〟を得た米軍でしょう。彼らは同機に警告すら行わず、事件後はレーダー記録を廃棄し、関係者には箝口令を敷いた。今も謎のままの事件で唯一はっきりしているのは、『米国が二六九人を見殺しにした』という事実ですよ」(杉本氏)

今も米国政府は、この事件を〝軍事機密〟として堅く口を閉ざし続けている。

◀撃墜事件に対して〝目と耳〟の役割をはたした、航空自衛隊稚内基地レーダーサイト。

共同通信社

女たちの肖像
〝年齢を超えた凄さと迫力〟七四歳で少女の役をこなす杉村春子「女の一生」の名演

稲葉真弓

日本演劇史上に輝かしい業績を残した名女優、杉村春子の舞台と言えばなんといっても文学座の「女の一生」だろう。この年一二月、新聞は「杉村春子が一〇年ぶりに『女の一生』を上演」と報じたが、話題になったのは一〇年というブランクに加え、一〇代の少女役を代役なしで、七四歳になった彼女が演じた点にもあった。

「女の一生」は、薄幸の娘、布引けいの一六歳から五六歳までを、日本が体験した三つの戦争(日清、日露、第二次大戦)を背景に描いた大作であり、女優・杉村春子の名を不滅にした作品でもある。昭和二〇年の初演以来、今回で公演回数七〇六回を数えたこの芝居は、実は昭和四八年、〝一〇代を演じるのにふさわしくない歳になった〟という杉村の意向によって打ち止めにされていた。七〇六回目の「女の一生」の上演は、演出家の戌井市郎が、「戦争体験が風化しかかっている今こそ上演価値がある」と口説き落として実現したが、杉村は一〇代の少女の部を楽しげに生き生きと演じ、結果は〝年齢を超えた女優の凄さと迫力〟を見せつけるものとなった。

▲昭和23年には、芸術院賞を受賞。

杉村春子は、明治四二年広島市生まれ。幼い頃両親を亡くし、裕福な建築資材業の夫婦の養女となった。養父母が芝居好きだったため、少女時代からさまざまな芝居を見て育ち、出生を知ってからは独立することを決意。一時は声楽家をめざしたが受験に失敗、病気退職した恩師の推薦で広島女学院の音楽の代用教員となった。昭和二年、築地小劇場の公演に感激して故郷を出奔、同劇場に入ったのが女優としてのスタートだった。初舞台は台詞のないオルガン弾きの役、その後も端役を演じたが、築地座を経て昭和一二年、文学座の結成に参加。以後ここが彼女の女優人生を育む場となった。

私生活では年下の医師との結婚、死別。「女の一生」の作者である劇作家・森本薫との恋、死別。亡夫の後輩医師だった再婚相手とも死別するといった不運に見舞われたが、そのつど舞台を支えに乗り切り、「欲望という名の電車」「華岡青洲の妻」、映画でも小津安二郎監督の「東京物語」などでファンを魅了した。平成八年には九四七回演じた布引けい役を後輩の平淑恵に譲り、同年文化勲章を「現役でいたいから」と辞退。九年、八八歳で膵臓癌のためみずからの〝女の一生〟に幕を降ろした。

勝者・敗者
黒岩彰が世界選手権の「総合優勝」で獲得したチャンピオンのプライド

阿部珠樹

この年、専修大学三年の黒岩彰(二一)は絶好調だった。スピードスケート五〇〇メートルで日本新を連発、二月に入ってヨーロッパに遠征しても毎週のように記録を更新し、圧倒的な滑走を見せつけた。そして最高のスプリンターを決めるヘルシンキの世界スプリント選手権にのぞむ。二月二六、二七日の二日間で五〇〇メートルと一〇〇〇メートルを二回ずつ滑り、総合ポイントで争うこのタイトルは、体力で劣る日本選手にとって大きな壁だったが、この年の黒岩には、体力の問題は小さな障害にしかすぎなかった。

初日、五〇〇で二位、一〇〇〇で五位、総合ポイントで二位につけると、二日目、シーズンの好調を一気にぶつける。まず得意の五〇〇を三七秒九〇で制すると、苦手の一〇〇〇でも一分一六秒九〇で前日より二つ順位を上げる三位に食いこみ、総合ポイントでトップ。ついに日本スケート陣悲願の総合優勝を手にした。

黒岩は高校時代に一〇〇〇メートルの日本新記録を出すなど、早くから逸材として知られ、大学に進学してからも、順調な伸びを見せていた。たくましい太腿からたたき出される爆発力、天性とも言えるたくみなコーナーワーク、そしてコーチの指導を素直に受け入れ、まっすぐに世界の頂点をめざす向上心、どれをとっても優等生の選手だった。

世界を制した黒岩には、翌年のサラエボ五輪での優勝の期待が一層高まった。だが、サラエボは黒岩にとって、たまらなく苦い体験となる。大きな期待の重圧に押しつぶされ、降雪による試合時間の遅れとコースコンディションの不良で、本来の滑走ができない。結果は五〇〇メートル一〇位と惨敗した。

しかし、三年後の一九八七年(昭和六二)には、再び世界スプリント選手権で優勝。翌年カルガリー五輪に出場した黒岩は、全盛期の切れ味こそ失っていたが、最後の力をふりしぼって銅メダルを獲得した。その原動力となったのが、八三年に獲得した世界チャンピオンのプライドだったことは、想像にかたくない。

▶一九八八年に銅メダルを獲得したカルガリー五輪の記録は、五〇〇メートルで自己最高の三六秒七七。この年引退して専修大学監督に就任した。

共同通信社

読売新聞社

毎日新聞社

◀**橋本聖子、完全V（1月11日）**盛岡市の全日本スピードスケート選手権大会で、鷹野靖子以来23年ぶりに500、1500、3000、5000の4種目を制覇した。橋本は、駒大苫小牧高の3年生（18）。

▲**青函トンネル貫通（1月27日）**先進導坑がつながり、19年の難工事が本坑の2.7キロを残して、ついに完成間近となった。全長53.9キロは世界一、これで北海道から九州までが陸続きとなった。

読売新聞社

▲**唐十郎が芥川賞受賞（1月17日）**話題の事件から愛の極致とカニバリズムを描く『佐川君からの手紙』が評価された。42歳。劇団状況劇場の座長。写真右は『夢の壁』で受賞の加藤幸子。

共同通信社

▲**塩水エンジン車が走った！（1月17日）**東工大名誉教授・一色尚次らが開発、塩水が薄まる際に発生する熱をエネルギー源に、時速約10キロで芝浦工大大宮校舎を1時間以上走りまわった。

▶**連続ピストル強盗犯逮捕（1月31日）**元消防士（34）。前年の警察官からの短銃強奪や連続強盗殺人を次々に自供、犠牲者は8人になった。写真は昭和51年のホステス殺害の現場検証。

毎日新聞社

共同通信社

▲**大輪の花開かぬまま横綱若乃花が引退（1月14日）**初場所5日目に対朝潮戦で3敗目を喫し（写真）決意。29歳。甘いマスクで人気があったが、4回しか優勝できなかった。

昭和58年1月

1（土）●森林文化協会など「二一世紀に残したい自然一〇〇ヵ所」を選定。北海道の釧路湿原など。
2（日）●総理府調査でテレビ視聴は一日三時間半平均。
3（月）●科学技術研究費は官民で六兆円と総理府発表。
4（火）●東京銀行、英経済紙のシンジケートローン主幹事番付で、日本の銀行では初の世界一に。
5（水）●全通間近の中国自動車道、けもの道寸断で三年間に野生動物一四〇〇匹轢死、と新聞に。
6（木）●第一勧銀、前年の宝籤は戦後初の減収と発表。
7（金）●千葉大医学部の女性研究生の絞殺体が発見される（22日新婚の夫を逮捕）。
8（土）●南硫黄島に新種の昆虫一四種、と環境庁報告。
9（日）●自民党の中川一郎、札幌のホテルで自殺。
10（月）●大阪大の池原森男教授ら、小人症治療用のヒト成長ホルモンの生化学的合成に成功と発表。
11（火）●中曽根首相、韓国訪問。全斗煥大統領と会談。
●ソニーのフロッピー三・五チィン標準化に内外一三社合意（2月21日松下など三チィン規格発表）。
12（水）●横浜で中学生ら一〇人が、ホームレスを襲撃（2月10日までに三人殺害、一三人重軽傷）。
13（木）●ニュージャパン火災公判で横井英樹全面否認。
14（金）●政府、米から要請の武器技術対米供与を決定。
15（土）●新日鉄釜石、ラグビー日本選手権初の五連覇。
16（日）●共通一次終了。欠席率は過去最高の五・四％。
17（月）●唐十郎『佐川君からの手紙』に芥川賞と決定。
18（火）●京都市議会、古都保存協力税条例案を可決。
19（水）●訪米中の中曽根首相が「日本列島を不沈空母に」と発言し「ワシントン・ポスト」が報道。
20（木）●大阪府警、賭博ゲーム機汚職で一二〇人処分。
21（金）●新宿署、「ビニ本」会社摘発し八万冊を押収。
22（土）●シャープと慶大、音声出る英語電子辞書発表。
23（日）●スイスの教会が日本の結婚式パック旅行は信仰冒瀆として中止を要求、と新聞に。
24（月）●関東八信金が災害時オンライン化の契約締結。
25（火）●ローマ法王、カトリック基本の大改定に署名。諸制約を大幅緩和、離婚の自由化進む。
26（水）●東京都杉並清掃工場、計画から一七年で完成。
27（木）●青函トンネルの先進導坑が着工一九年で貫通。
●国税庁、全税務署のオンライン化計画発表。
28（金）●豆乳がブームで出荷額も倍々ゲームと新聞に。
29（土）●府中市の東京競馬場にシルバーシート登場。
30（日）●吉田都、第一一回ローザンヌ国際バレエ優勝。
31（月）●仙台高裁、松山事件（30年）再審決定を支持。
●一一年で八人殺害の元消防士、名古屋で逮捕。

ニュース・ファイル

1983

フォト＋日録で再現する365日

中曽根首相が米紙に「日本列島を不沈空母化する」と発言して物議を醸し、九月にはサハリン上空でソ連軍機が大韓航空機007便を撃墜、世界を驚愕させた。橋本聖子、林葉直子、雉子牟田明子、久島啓太ら中高生の活躍は世代交代を印象づけた。

◀**雨の東名で15台が衝突（10月27日）**静岡県小山町の「魔のカーブ」と呼ばれる事故多発地点で、雨のためにスリップし、上り車線をふさいだ大型トラックに、バスなどが次々追突。一人死亡、5人が重軽傷を負った。

共同通信社

▲青木功、ハワイアン・オープンに勝つ(2月13日)最終ホール117メートルの逆転イーグルショットに成功、日本男子初の米プロツアー優勝をはたした。写真は、カップと賞金ボードを手にする青木(40)。

共同通信社

日刊新聞社

▲15歳の林葉直子が女流名人に(2月19日)東京・千駄ケ谷の将棋会館で行われた第9期将棋女流名人位戦で、蛸島彰子名人を破って、史上最年少で栄冠を獲得。林葉は福岡市生まれ。米長邦雄プロの手ほどきを受けていた。

▼蔵王温泉で火災(2月21日)未明、山形市の蔵王観光ホテルから出火、隣の旅館4棟も全焼、宿泊客ら11人が死亡した。誤作動が多いと、火災報知器のスイッチが切ってあった。

共同通信社

▶国公立大に戦後初の外国人助教授(2月)京大人文科学研究所の英国人コーニッキーさん(32)。前年9月、大学の門戸を開こうと施行された、外国人教員任用法適用の第1号だった。

共同通信社

▶トヨタ・GM、合弁に調印(2月18日)世界1位と2位の両社が結び、カリフォルニア州のGM工場で、米国内向け小型乗用車をトヨタ方式で生産。記者会見で、豊田英二会長(中央)は「日米の新しい形」と語った。

読売新聞社

▶横浜でホームレス襲撃(2月10日)1月中旬から、公園や地下街で寝ているホームレスが襲われ、3人が死亡し13人が負傷。神奈川県警はこの日、中学生5人を含む少年10人を逮捕した。彼らは「襲っても抵抗せず、面白かった」と供述。写真は横浜市内で。

共同通信社

昭和58年2月

1(火)●老人保健法施行。七〇歳以上も一部有料化。
●厚生省、血友病患者の自己注射に健康保険を適用(非加熱血液製剤の売り上げ急増)。
2(水)●国鉄、運転士らの定期適性検査を再開と決定。
3(木)●米、貿易収支で過去最高の赤字三六一億ドル。
4(金)●日本初の実用通信衛星「さくら2号a」、打ち上げ(24日赤道上空の静止に成功)。
5(土)●ナショナルトラストを進める全国の会、設立。
6(日)●伊豆の熱川プリンスホテル本館が全焼。
7(月)●警視庁、小学二年生を含む都内少年の空き巣、バイク窃盗、万引きの四集団四一人を補導。
8(火)●日立製作所、IBM産業スパイ事件(57年6月)の有罪認め、米検察と司法取引に合意。
9(水)●新日鉄、五製鉄所七設備休止の合理化案提示。
10(木)●横浜市、退職金減額前の希望退職者が急増したため補正予算案を作成。
11(金)●通産省、欧米ビジネスマン対象の日本研修制実施を決定。一〇〇人を二カ月間。
12(土)●移植学会、脳死に関するシンポジウム開催。
13(日)●青木功、ハワイアン・オープンで優勝。米プロゴルフツアー優勝は日本人男子で初めて。
14(月)●科学技術庁、協和醗酵申請のインターフェロン生産用大腸菌の大量培養計画を承認。
15(火)●町田市忠生中で、教師が護身のため生徒を刺し逮捕(4月28日正当防衛認められ罰金)。
16(水)●総評、ナショナルトラスト運動で和歌山県天神崎買い取りのためカンパ要請を決定。
17(木)●ロンドンの海洋投棄規制条約締約国会議、日本などの放射性廃棄物海洋投棄停止を可決。
18(金)●トヨタとGM、小型車合弁生産の覚書に調印。
19(土)●東海核燃再処理工場で放射能もれ、運転停止。
●林葉直子、最年少一五歳で将棋女流名人位に。
20(日)●宇宙研、X線天文衛星「アストロB」、打ち上げに成功。ブラックホールなどの謎をさぐる。
21(月)●山形・蔵王観光ホテル火災、一一人焼死。
22(火)●全盲の高校生、点字試験で国際基督教大合格。
23(水)●東京中野刑務所、廃庁式。七三年の歴史に幕。
24(木)●日系人戦時収容は人種差別と米議会報告。
25(金)●初の一五年の超長期国債三〇〇〇億円発行。
●堺市議会で住民請求による初の倫理条例可決。
26(土)●東村山市の中学で男子生徒二人が鉄パイプで職員室に乱入、教師五人が負傷。
27(日)●黒岩彰、世界スプリントで総合優勝。日本人初。
28(月)●宮本顕治身分帳事件で鬼頭元判事補に有罪。

◀ミニ復活(3月)かつての流行を知らない世代によって、再び最前線に引き出された。ただし、カラータイツやレッグウォーマーが新しかった。写真は3月上旬、東京・原宿で。

共同通信社

▼西独の総選挙で「緑の党」大躍進(3月6日)連邦議会初進出で、27議席獲得。1970年代に原発反対や反核運動を行った市民団体が母体だった。写真中央が女性指導者のケリー。

共同通信社

▲徳島ラジオ商殺し、死後再審(3月16日)高松高検は、無実を訴え69歳で病死した富士茂子の姉弟が継いだ遺志を認定した。裁判史上初の快挙。昭和60年に無罪判決を獲得した。

共同通信社

▲イラク軍、イランの油田を撃破(3月2日)イラン・イラク戦争の最中、海底油田から1日2000バレルもの原油がペルシャ湾に流出、海洋生物の生存がおびやかされた。9月にイランが油井の封鎖に成功した。

共同通信社

▶臨調、最終答申(3月14日)前年には国鉄の分割・民営化などの行革案を提示。「増税なき財政再建」の最後は、省庁部局の再編などとなった。写真は、中曽根首相に最終答申を手渡す土光敏夫会長。

読売新聞社

◀ヘプバーン初来日(3月28日)彼女の映画衣装のほとんどをデザインしているジバンシーの「30周年記念展」出席のため。53歳とは思えない若々しさで成田空港に降り立った。右は次男ルカ君(13)。

日刊スポーツ

昭和58年3月

1(火)●大阪地裁、箕面忠魂碑訴訟で戦没者慰霊祭を宗教行事と認め、公務員参列は違憲と判決。
●日産労使、ロボットなどME機器導入で解雇や労働条件切り下げはしないとの協定に調印。
2(水)●イラク海軍、イランのノールーズ海底油田を攻撃。大量の油田がペルシャ湾に流出。
3(木)●「法隆寺」地名存続の住民訴訟、最高裁で敗訴。
4(金)●兵庫県警の警視が金融業者らと賭け麻雀発覚。
5(土)●奈良国立文化財研究所など、法隆寺は焼失後に再建との説裏づける工事跡を発見と発表。
6(日)●西独総選挙で「緑の党」が連邦議会に初進出。
7(月)●預けた子の水死で隣家に勝訴した原告が、いやがらせ殺到したため津地裁に訴訟取り下げ。
8(火)●一月の失業率二・七二%、三一年間で最悪。
9(水)●総監公舎爆破未遂(46年)の被告全員に無罪。
10(木)●文部省、「荒れる教室」の総点検を全国に指示。
11(金)●中標津空港でYS11型機墜落。三一人重軽傷。
12(土)●日米、シーレーン防衛の共同研究着手に合意。
13(日)●東北大で体外受精による妊娠(着床)に成功(10月14日、日本初の「試験管ベビー」誕生)。
14(月)●第二次臨調、最終答申を中曽根首相に提出。
●OPEC、結成以来初の原油値下げを決定。
15(火)●富士銀行、米の商業金融会社買収合意と発表。
16(水)●徳島ラジオ商殺し(28年)で初の死後再審決定。
●国立歴史民俗博物館、千葉県佐倉市に開館。
17(木)●大阪市で小学六年男子が鉄棒で教師を殴打。
18(金)●連続射殺犯・永山則夫「木橋」に新日本文学賞。
19(土)●国鉄、勤務時間に入浴などの一一七四人処分。
20(日)●国鉄、「ナイスミディパス」を発売。
21(月)●佐世保港に米原子力空母「エンタープライズ」が一五年ぶり入港。一万人が反対集会。
22(火)●愛知県稲沢市でサラ金苦の両親が二児を絞殺し逃亡(25日連帯保証の二家族も逃亡と判明)。
23(水)●レーガン大統領、戦略防衛構想(SDI)指示。
24(木)●新入社員の八割はマイコン経験者と銀行調査。
25(金)●勤労者世帯の貯蓄残高は五九一万円と総理府。
26(土)●日本への白鳥飛来は一三年間で倍増と環境庁。
27(日)●三里塚・芝山空港反対同盟、初の分裂集会。
28(月)●警官警備の中学卒業式は一二二五校と警察庁。
29(火)●北海道庁爆破事件で元岐阜大生に死刑判決。
30(水)●神戸家裁、「田中角栄」名の少年に改名許可。
●京セラとヤシカ、合併合意(10月京セラ発足)。
31(木)●「適」マークを宿泊施設から百貨店・劇場など二万五〇〇〇施設に拡大と消防庁が通達。

◀池田高校、夏春連覇（4月5日）甲子園球場で行われた春の高校野球決勝戦で、エース水野雄仁が横浜商を3対0で完封。水野はこの大会、5試合に登板して2失点、自責点0の力投だった。

読売新聞社

時事通信社

▲「勝手連」パワー爆発（4月10日）保革対決が尖鋭化した福岡、北海道の知事選で奥田八二、横路孝弘がそれぞれ当選し革新知事が誕生。横路当選には元全共闘生らの「横路と勝手に連帯する若者連合」が予想外の力を発揮した。

▼38年ぶりの対面（4月19日）終戦直後に中国・ハルビンで生き別れ、残留孤児となった小林義昭さん（39）が、私費で一時帰国。熊本県在住の母親・ミツヨさん（61）と、遺影の父親に大阪で再会した。

◀ベイルートの米大使館爆発（4月18日）自動車が7階建てビルに激突、積んでいた爆薬が炸裂し、建物前面が轟音とともに崩壊した。死者・行方不明者約90人、負傷者百余人。米国の中東和平工作に反対する、イスラム聖戦機構が犯行声明を出した。

AP／WWP

▶中学生が天皇に金槌（4月29日）天皇誕生日の参賀でにぎわう皇居での事件。幸い金槌は、お立ち台の下に落ちた。少年は「父を困らせたかった」と供述。

◀天然記念物ニホンカワウソ騒動（4月8日）高知県高岡郡で、4年前姿を消した動物の死体（写真）を発見。県が生息を期待したが、平成8年の再鑑定でハクビシンと訂正された。

共同通信社

共同通信社

昭和58年4月

1（金）●神奈川県、都道府県では初の情報公開制実施。

2（土）●川崎市の石油コンビナートで、一ヵ月に一〇トン超える危険な原料トルエンの盗難判明。

3（日）●「妻は家庭に」の女性が米の二倍以上と総理府。

4（月）●NHK連続テレビ小説「おしん」放映開始。

5（火）●長浜城再建成り、歴史博物館開館記念式典。

6（水）●前年度装備発注額が一兆円突破と防衛庁発表。

7（木）●中国、米との文化・スポーツの交流を停止。四日の中国人亡命を認めた米政府に対応。

8（金）●大蔵省、現金自動預払い機の企業内設置認可。

9（土）●伊豆・鳥島のアホウドリは着実に復活し、戦後最高の一五〇羽を確認、と環境庁公表。

10（日）●統一地方選挙。北海道で横路孝弘、福岡で奥田八二の革新知事が当選。

●日本医学会で、杉花粉症は免疫抑制遺伝子の欠如が原因との研究発表。

11（月）●CGなどのインターグラフィックス'83初開催。

12（火）●茨城県武者塚古墳で七世紀の頭髪残存と判明。

13（水）●佐渡島の雌の朱鷺「シロ」、産卵直前に急死。

14（木）●焼酎とワイン伸び、清酒減少と『お酒白書』。

15（金）●東京ディズニーランド、浦安市にオープン。

●朝日新聞社の調べで、一月からサラ金苦の心中、自殺者は全国で一八五人と判明。

16（土）●札幌郊外に開拓時代再現した開拓の村が開村。

17（日）●第四三回さつき賞でミスターシービーが優勝。父トウショウボーイに次ぎ初の父子制覇。

18（月）●レバノンの米大使館爆破。一九〇人死傷。

19（火）●鳥羽市沖で自衛隊機二機が墜落、一四人死亡。

20（水）●南極観測船「ふじ」、最終航海終え帰港。

●金融制度調査会、大口預金金利の自由化提案。

21（木）●中曽根首相、「総理大臣」の肩書きで靖国参拝。

22（金）●大丸と高島屋が決算発表。戦後初の減収。

●中央薬事審、医薬品一〇〇品目が有用性なしと答申。厚生省は製造・販売中止を指示。

23（土）●熊本競輪で出走九選手全員転倒、一人死亡。

24（日）●国鉄、五九年新規採用を中止と決定。

25（月）●原子力安全委員会、高速増殖炉「もんじゅ」建設許可は妥当と首相に答申。

26（火）●カシオ計算機、重さ一二グラムの超小型電卓開発。

27（水）●都内のテレビつきタクシーが半年間で一五〇〇台に増加、全体の三パーセントになる、と新聞に。

28（木）●横浜港でタンカー同士衝突。ナフサ大量流出。

29（金）●奥田福岡県知事夫人、選挙買収容疑で逮捕。

30（土）●六八パーセントが大震災への準備なしと総理府調査。

共同通信社

▼坂本スミ子（46）、大麻譲渡で書類送検（5月21日）主演した今村昌平監督「楢山節考」のカンヌ映画祭グランプリを土産に、帰国したばかり。3月にハワイで見知らぬ外国人から手渡され、帰国後、知人に処分を頼んだという。

▲「世界の恋人」フリオ・イグレシアス来日（4月16日）売ったLPが1億枚以上というスペインのスーパースター（38）。21日から神奈川県民ホールで公演、女性ファンを夢心地にさせた。写真は離日した5月11日、成田空港で。

毎日新聞社

▶日本海中部地震発生（5月26日）震源地は秋田県能代沖でM7.7。男鹿半島の海岸で遠足に来た児童13人が津波に呑まれたのをはじめ、秋田・青森で死者104人、家屋全壊1584戸に達した。写真は、破壊された秋田県八森町の漁港。

共同通信社

▶南ア共和国で爆弾事件（5月20日）黒人解放組織・ANCが、南ア政府の強硬姿勢に無差別テロを開始し、首都プレトリアの空軍本部前の乗用車を爆破。死者16人、負傷者88人の惨事となった。

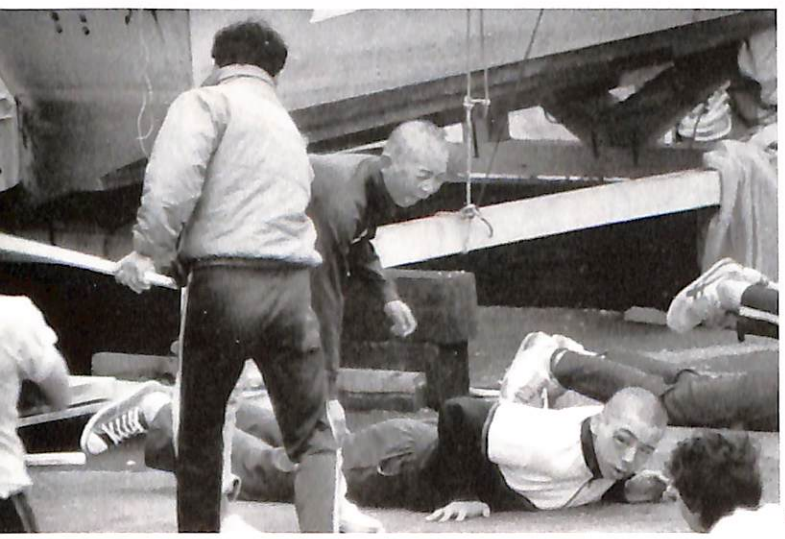
AP／WWP

証言・あの日この日

永山則夫（33）

5月1日（日）〈とにかく、とてもうれしいです。長い年月、どうしても書いておきたいと思っていたことごとを今回書いてみました。／思うのは、小説とは読む分には易しいのですが、いざ自分で書くとなると大変なんだなということです。〝テニヲハ〟には未だ苦労しています〉（永山則夫「受賞のことば」）

「連続射殺魔」と呼ばれた永山則夫は、登校拒否のまま中学を卒業し、集団就職で上京。転職を繰り返すうちに昭和43年、盗んだピストルで4人を射殺。19歳で逮捕されるが、獄中で猛烈な勉強を開始。最終的に小説という表現形式にたどり着く。そしてこの年「木橋」が新日本文学賞を受賞、作家・永山則夫が誕生する。が、平成9年8月1日、突然死刑が執行され、処刑後に執筆中の未完小説「華」の原稿が発見された。（山崎行太郎）

▼戸塚ヨットスクール事件（5月26日）ヨットで「おちこぼれ」少年の更生を目的にしたが、写真のような猛訓練で死者二人を出していた。この日、コーチが逮捕され、9月までに校長・戸塚宏（42）らが起訴された。

毎日新聞社

昭和58年5月

1（日）●国産タバコ値上げ。セブンスター二〇〇円。

2（月）●作家長者番付、一位・松本清張、二位・赤川次郎。

3（火）●新潟県湯沢町の中学校教師・荒貴源一、新彗星（IRAS・アラキ・オルコック彗星）を発見。

4（水）●寺山修司、死去（7月劇団天井桟敷解散）。

5（木）●中国民航機、中国人に乗っ取られ韓国に着陸。

●都内でワンルーム・マンション流行と新聞に。

6（金）●日中石油開発、渤海湾の試掘第六号井で日量一万二〇〇〇バレルの出油を確認と発表。

●宝田明の宝田芸術学園、倒産。負債三億円。

7（土）●退職金是正公約の新市長当選で、退職金高いうちにと武蔵野市の幹部職員一六人が辞表。

8（日）●サラリーマン新党、結党式。代表・青木茂。

9（月）●ローマ法王、地動説のガリレイ有罪を撤回。

10（火）●国内旅行は八パーセント減、海外二パーセント増と『観光白書』。

11（水）●川越市でナショナルトラストにより江戸時代の町並み保存をはかる「川越蔵の会」設立。

12（木）●エプソン、ポケット型カラーテレビを開発。

13（金）●国鉄再建監理委設置法成立。民営化を推進。

14（土）●新潟県に全寮制大学院大学「国際大学」開校。

15（日）●家内労働の三割が前年比受注減と労働省調査。

16（月）●テクノポリス法公布。半導体産業など育成。

17（火）●毎日放送、サラ金CM打ち切りと労組に回答。

18（水）●政府、金大中事件捜査打ち切り方針を決定。

19（木）●東京地裁、土田・日石・ピース缶の三爆弾事件（昭和44年）の九被告に無罪判決。

●今村昌平監督「楢山節考」、第三六回カンヌ国際映画祭でグランプリを獲得。

20（金）●福島地裁、泥酔者を殺した警官に戦後初の公務員暴行陵虐致死罪を適用し、有罪判決。

21（土）●土光敏夫、臨時行政改革審会長就任を受諾。

22（日）●建物区分所有法改正公布。悪質住民排除など。

23（月）●総評、臨時行革審への委員派遣拒否と決定。

24（火）●米政府、エイズを国家最優先対策病に指定。

25（水）●前年のツツガ虫病患者は五〇七人で記録更新。

26（木）●青森・秋田沖で日本海中部地震発生。一〇四人死亡、五〇八九棟が全半壊。

27（金）●自治省、自治体の高額退職金是正指導を強化。

28（土）●大島渚監督「戦場のメリークリスマス」封切。

29（日）●市川猿之助、欧州四都市で歌舞伎公演を開始。

30（月）●前年の未成年中絶が一一パーセント増、二万四四七八件（一〇歳代では過去最高）と厚生省。

●郵政省、CATV事業を民間に認可と通達。

31（火）●通信衛星「さくら2号a」の運用開始。

昭和58年6月

1（水）●リウマチ学会で豊胸手術の危険性を指摘。
2（木）●文部省の校内暴力調査。被害教師一八八〇人。
3（金）●阪急の福本豊、盗塁九三九個の世界記録達成。
4（土）●松田優作主演「家族ゲーム」封切。
5（日）●公害被害者が東京で「環境行政後退抗議」集会。
6（月）●中国第六期全人代で国家主席に李先念選出。
7（火）●閣議、対癌一〇ヵ年総合戦略を了承。
8（水）●EC、偽ブランド取締り強化を警察庁に要請。
●奥田福岡県知事を右翼が襲撃。知事は無事。
9（木）●大手水産会社や商社、米五大湖のダイオキシン汚染問題のため輸入わかさぎの出荷を停止。
10（金）●東邦音大が単位不足者を金銭で卒業と判明。
11（土）●鹿児島県教委、業者テスト拒否の教師を処分。
12（日）●谷川防衛庁長官、同長官で初の北方領土視察。
13（月）●戸塚ヨットスクールの戸塚宏が逮捕される。
●厚生省、エイズの実態把握に関する研究班を発足。班長・安部英帝京大医学部長。
14（火）●首相の諮問機関「文化と教育に関する懇談会」初会合。六・三制含む戦後教育再編討議。
15（水）●ロッキード裁判で伊藤宏、五億円授受を追認。
●逗子市池子の米軍住宅建設反対派住民三人が渡米し、米国防総省に中止要請文を手交。
●谷川浩司、史上最年少で将棋名人位を獲得。
16（木）●米テネシー州の日産トラック工場、操業開始。
17（金）●『相続税白書』発表。九六％が「遺産隠し」。
18（土）●前年の出生率は過去最低の一・二八と厚生省。
19（日）●カール・ルイス、全米選手権で一〇〇㍍、二〇〇㍍、走り幅跳びを制覇。九七年ぶり。
20（月）●浩宮親王、英オックスフォード大留学に出発。
●東京地裁、「同期の桜」作曲は大村能章と認定。
21（火）●国内最後の手動式電話だった小笠原一本土間が、人工衛星利用のダイヤル直通になる。
22（水）●米議会で日系人戦時収容への補償法案提出。
23（木）●普通科高校の四割で学力別学級を編成と判明。
24（金）●中国帰国孤児定着促進センターの建設決定。
●西友ストア、東京・青山に「無印良品」店開店。
25（土）●東洋医学を治療にと日本歯科東洋医学会発足。
26（日）●第一三回参議院選挙。初の比例代表制導入。
27（月）●倉敷成人病センターがシンガポールにクリニック開設。病院初の海外進出。
28（火）●俳優・沖雅也、新宿のホテルで飛び降り自殺。
●科学技術会議、遺伝子組み換え実験指針緩和。
29（水）●立川談志、弟子一五人と落語協会を脱退。
30（木）●大蔵省、サラ金への金融機関の貸出抑制通達。

▶谷川浩司八段、最年少名人に（6月15日）神奈川・箱根のホテル花月園で行われた第41期将棋名人戦第6局で、加藤一二三名人を破って通算4勝。初挑戦の21歳でみごとに栄冠を勝ち取った。

共同通信社

◀浩宮親王(23)、英国留学（6月21日）早朝ロンドンに到着、2年間の留学生活を始めた。中世交通史研究のため、10月からオックスフォード大マートン・カレッジに入学、寄宿舎生活を送る。

共同通信社

▼阪急の福本豊(35)、盗塁世界新（6月3日）西武球場の対西武戦9回1死二塁で、三盗に成功して939個となり、大リーグのルー・ブロックの記録を破った。昭和63年に引退、生涯盗塁は1065だった。

朝日新聞社

◀沖縄で米軍が上陸演習（6月7日）4～13日まで行われ、自衛隊員も研修名目で参加。この日は、反対派の見守る中、金武湾で装甲強襲揚陸車が上陸、「沖縄戦」の再現となった。

共同通信社

▶「幻のピアニスト」ホロビッツ来日（6月2日）海外公演嫌いの米国の巨匠(78)の来日は初めて。東京のNHKホールで11、16日に演奏、5万円席が発売と同時に完売した。

時事通信社

▼米国初の女性宇宙飛行士（6月18日）サリー・ライド(32)。スペースシャトル「チャレンジャー」で出発。宇宙からの第一声はディズニーランドの特別券にたとえ、「気分はEチケットよ」。

NASA／共同通信社

「現場」を歩く 銀座

愛人バンク商法「夕ぐれ族」の“援助交際”以上に危険な部分

山本徹美

▲「夕ぐれ族」は、写真中央の細長いビルの3階フロアに、事務所をかまえていた。 但馬一憲

昭和五八年一二月八日、男女の会員を募って交際の仲介をするという新風俗「愛人バンク」の第一号「夕ぐれ族」が、創設一周年をすぎ、初めて摘発された。

「警視庁保安一課と築地署は、同日午後、経営母体『エコー社』オーナーの東京都中央区築地四丁目、筒見待子こと鶴見雅子（二五）ら三人を売春防止法違反（周旋）の疑いで逮捕した」（「朝日新聞」一二月九日）

「全国愛人バンク夕ぐれ族エコー社」が設立されたのは、五七年一一月。入会希望者は東京・銀座六丁目にある事務所で登録する。入会金は男性二〇万円、女性一〇万円以内。その利用状況は、

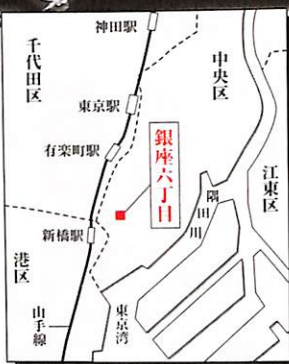
「愛人志願の若い女性がドッと押しかけ、連日面会室が満杯になるほどの盛況ぶり。一日約二十人が応募、昨年度の鶴見の申告所得は約二億円」（「読売新聞」同日）

と、大人気。摘発時の会員は男一〇〇六人、女一四〇二人の合計二四〇八人。この繁盛ぶりに都内では類似の愛人バンクが出現。警視庁の調べでは約五〇店。「関係者の話では、実際は二、三百あるのでは」（前出「朝日新聞」）と、急増中だった。

「会員同士の自由交際。紹介料は取っていないから、売春には相当しない」

と、「夕ぐれ族」側は主張したが、五九年一二月、東京地裁は有罪判決を下す。

愛人バンクとテレクラ

銀座六丁目の、「夕ぐれ族」事務所があったビルを訪ねてみた。ここはネオン街からははずれていて、近くに日産自動車などのオフィスビルが並んでいる。目につくのは背広姿の会社員で、若い女性はあまり見かけない。「夕ぐれ族」事務所のあったフロアは、ある企業が総務部兼社長室にして使っていた。その社員が当時を振り返る。

千代田区 神田駅 東京駅 有楽町駅 中央区 銀座六丁目 江東区 隅田川 新橋駅 港区 山手線 東京湾

「筒見さんがいた頃は何かとにぎやかでしたね。当社はこの上階にありましたが、筒見さんが出た後、昭和六二年からこの階も借りています。今は静かなものです」

愛人バンク商法が違法とされるや、都内から同種の事務所は消滅していった。とって代わって登場したのが電話を使った伝言板やテレフォンクラブである。某テレフォンクラブ店長が指摘する。

「愛人バンクに登録すると、会員はプライバシーを主宰者に握られてしまう。その点テレクラは、安心して交際できます」

平成六年七月一三日、警視庁生活経済課は「筒見待子オフィス」の名前で架空の融資話を仲介したとして、鶴見と、もとエコー社の実質経営者・窪田保夫ら四人を詐欺罪の疑いで逮捕した。

「筒見容疑者らは、愛人をあっせんしたことのある政財界の人脈が出資者だと信用させていた」（「朝日新聞」七月一四日）

平成八年二月二三日、東京地裁で鶴見と窪田に実刑判決が下る。愛人バンクの危険性に気づいた利用者は、とっくに“援助交際”へシフトしている。

◀筒見待子は、あらかじめ弁護士を雇うなど、法対策もぬかりなかったが、結局逮捕され有罪に。

読売新聞社

ベストセラー

赤川次郎が『探偵物語』でベストセラー・メーカーに

この年、新進気鋭のベストセラー作家が登場した。赤川次郎である。推理小説でありながら、それまで全盛だった社会派と違って、現代の普通の若者が主役になって活躍するコメディータッチの物語で読みやすかった。会話も多くスピーディーな展開だったことも、劇画を読み慣れた読者に大いに歓迎された。一躍ベストセラーになった『探偵物語』は、リッチな女子大生と、彼女の尾行と護衛を依頼された私立探偵の冴えない中年男を、絶妙のコンビに仕立てて推理を進める物語だった。嫌味のない恋愛ももりこんでハッピーエンドに終わらせたところも、若年層を喜ばせた。

これと対照的なベストセラーだったのが、前年に芥川賞を受賞した、唐十郎の『佐川君からの手紙』である。留学先のパリで、家庭教師の白人女性を殺し、その死体を切り刻んで逮捕された佐川一政と手紙をやりとりしながら、その犯罪の核心に迫ろうとした物語である。演出家で劇作家でもある唐十郎独特の、不条理をテーマにしたドラマが目の前で展開され、そこにいつの間にか引きずりこまれるような、不思議なニュアンスを持つ小説だった。

また、コンピュータリゼーションが着着と進められたこの時代を、未来を予測することによって読み取ろうとした『十年後』(グループST)もよく売れ、話題になった。ただし、その予測の多くは、夢物語に終わった。コンピュータへの過度な期待感が、理論的に可能なことを、現実像として描かせてしまったためだろう。しかし、輸入にたよる食糧政策への批判的予測など、予測がぴたりとあたったものも少なくなかった。

●昭和58年のベストセラー

順位	書名(著者/出版社)
1位	『気くばりのすすめ』(鈴木健二/講談社)
2位	『積木くずし』(穂積隆信/桐原書店)
3位	『探偵物語』(赤川次郎/角川書店)
4位	『和田アキ子だ　文句あっか!』(和田アキ子/日本文芸社)
5位	『老化は食べ物が原因だった』(B・フランク/青春出版社)
6位	『続・気くばりのすすめ』(鈴木健二/講談社)
7位	『女らしさ物語』(鈴木健二/小学館)
8位	『メガトレンド』(J・ネイスビッツ/三笠書房)
9位	『佐川君からの手紙』(唐十郎/河出書房新社)
10位	『意識革命のすすめ』(広岡達朗/講談社)

全国出版協会出版科学研究所

▲『探偵物語』(640円)

▲『佐川君からの手紙』(980円)

▲『十年後』(光文社、680円)

スターと名場面

大島渚の〝国際的〟戦争映画「戦場のメリークリスマス」

これまでのホームドラマのパターンを、軽いタッチで根底からくつがえしてみせた「家族ゲーム」(森田芳光監督)が話題を呼んだ。都会のマンションの一室で、家族が同じ向きに一列に並んで食事する風景や、会話の場をマイカーのシートに求める父親、「いじめ」を多発させる中学校の教室など、時代を象徴するシーンをふんだんに織りこみ、どこか暴力的な臭いを漂わせる家庭教師をその中に投げこんで、挑発的な映画に仕立て上げた。

戦争をテーマにした映画も話題になった。大島渚監督が外国のプロデュースで撮った「戦場のメリークリスマス」は、戦時中のジャワを舞台にした重いテーマを、成島東一郎のカメラと坂本龍一の音楽で、ファンタジックな映像にし、感覚的で斬新な国際的戦争映画となった。

また「東京裁判」(小林正樹監督)は、アメリカ側が撮影したフィルムを編集した戦争記録映画で、思いがけないシーンを展開しながら、天皇の戦争責任問題に迫った。四時間半もの長編だが、息をつかせない緊張感のある作品だった。

この年、ほかに次のような作品が公開された。かっこ内はおもな出演者。「細雪」(佐久間良子)「天城越え」(田中裕子)「スター・ウォーズ ジェダイの復讐」(ハリソン・フォード)

東宝提供

▲「家族ゲーム」の、横一列で食事する象徴的なシーン。松田優作(中央)の家庭教師がユニークだった。由紀さおり(左端)と伊丹十三(その右)も好演した。

大島渚プロダクション提供

▶「戦場のメリークリスマス」で、日本軍の捕虜収容所将校を演じた坂本龍一(左)と、捕虜となったイギリス人将校を演じたデヴィッド・ボウイ(右)。

◀「東京裁判」で、東条英機は重要な役割をはたしていた。

モノ語り'83

「カロリーメイト」「日本名湯めぐり」そして「ファミリーコンピュータ」家庭に入りこんだ〝軽・薄・短・小〟商品

◀**家庭の風呂で温泉気分を味わう**　登別、蔵王、別府などの温泉を、その成分に基づいて化学的に再現した入浴剤「日本名湯めぐり」が光生から発売された。家庭の風呂に粉末を溶かすだけで、サラ湯では味わえない温泉気分にひたれると評判を呼んだ。浴槽や風呂釜をいためないような酵素を配分して安心感も与えた。800グラム入りの缶を2本組み合わせて7000円など、いろいろなセットがあった。

▲**手軽に十分な栄養をとる補助食品**　バランス栄養食品として大塚製薬から売り出された「カロリーメイト」がヒットした。これは医療現場向けに同社が開発した濃厚流動食〝ハイネックス―R〟を一般向けにしたもの。エネルギー源として、蛋白質、脂質、炭水化物、ビタミン、ミネラルなど、健康維持に欠かせない栄養素を含んでいた。ブロック状箱入りと液状の缶入りがあって、それぞれ200円だった。

▶**パウチッ子するのが流行した**　明光商会が業務用に開発していたラミネート加工機を「MSパウチ」と、初めてパウチの名称を用いて発売し、ロングセラーになった。カードなどの破損や改竄防止のほか、見た目に美しく仕上がるという利点を強調し、ラミネート加工を〝パウチッ子〟すると表現したことによって、急激に一般に知られるところとなった。3タイプあって価格は5800～35万5000円だった。

▲**テレビゲームに革命が起こった**　大ヒット商品、カセット式カラーテレビゲーム「ファミリーコンピュータ」が7月15日、任天堂から発売された。カラー放送とゲームを簡単に切り替えることができ、ゲームソフトのカセット出し入れも容易、小さなコントローラーで楽しめた。価格は1万4800円と画期的だった。

▶**生薬配合の強力養・育毛剤**　鐘紡は、これまでの「シデン」の養・育毛効果をさらに高めた「薬用紫電改」を発売(写真左=220ミリリットル入り4800円)しヒットさせ、ロングセラー商品とした。生薬スウェルチノーゲンが主成分。第2次大戦の海軍戦闘機の名称をズバリと採用してアピールしたのも、成功の大きな要因だった。写真右は翌年発売のミニ版。

◀**自宅でアイスクリームが作れるポット**　材料メーカーの日本軽金属が生活用品として初めて売り出した、家庭用アイスクリーマー「どんびえ」がヒット商品となった。6月10日に発売されるや半月間で20万個売れたのである。すでに自社で開発していた冷凍技術を応用したもので、ポットの中に牛乳や生クリーム、生卵などを入れ15～30分攪拌するだけで自家製アイスクリームができた。性能のわりに、1個4800円の価格も手頃だった。

▼**白いケースに入った臭いのない防虫剤**　洋服ダンスの中にケースごと掛けておけばいい防虫剤「ゴン」が大日本除虫菊から発売された。衣類に害を与える虫が、卵から幼虫に孵化する前に死滅させる新しいタイプの防虫剤で、従来の防虫剤に特有の強い臭いをなくしたため、衣類に臭いが残らなくなったのも大きな特徴として歓迎された。1箱2個入りで、540円だった(写真右)。左は翌昭和59年に発売された、引き出し用。

人物クローズアップ

安藤忠雄（四二）

六〇度の斜面に階段状の建築を常識破り「六甲の集合住宅」出現

　昭和五八年五月、背後に六甲山を控え、前方に神戸市街と大阪湾を見おろす神戸市灘区の急傾斜地に、山の斜面にそってせり上がる階段状の集合住宅が出現した。建築家・安藤忠雄（四一）の設計による「六甲の集合住宅」である。

　山の斜面は六〇度。上からのぞきこむと、ほとんど垂直に見えてしまうほどの急勾配に住宅を建てること自体、ひとつの挑戦だった。安藤が依頼を受けたのは昭和五四年のことである。施主は当初、平地での集合住宅の計画を依頼したが、安藤は、斜面地の方が面白いものができると、困難は覚悟のうえで施主を説得したという。

　工期も、日本では珍しく長期にわたっているが、一期設計当初は三期（平成一一年完成予定）まで含めたマスタープランがあったわけではなく、安藤が他人の土地に勝手に描いたプランが、たまたま、二期（平成五年完成）、三期につながったのだという。

　工事は予想どおり困難をきわめた。六〇度の斜面に住宅が建つことは、通常はありえない。そこで安藤は斜面を掘り、建物を地下に埋めこむ方法をとった。そうすることで、高さ制限も建蔽率も関係なくなったし、法的には、地上二階、地下一階の建物になった。

　こうした、従来の常識をくつがえす安藤の独創的な発想は、建築界における安藤の地位を不動のものにしたのである。

　安藤忠雄は、昭和一六年九月一三日、大阪市生まれ。育ったのは鉄工所やガラス工場・木工場などが集まる大阪の下町、旭区で、安藤は中学生の頃は木工場の職人になりたいと思っていた。工業高校二年の時、どうしても海外に行きたいと、ボクシングを習い始めた。三ヵ月でプロボクサーの資格を取得し、タイでの遠征試合をするためにバンコクへ行くことになった。これが、安藤の最初の海外への旅だった。

　旅は、安藤の建築の源泉である。高校を卒業し、独学で建築の勉強を続けていた彼に強い影響を与えたのが、フランスの建築家ル・コルビュジエだった。コルビュジエに「若い時の旅は深く強い意味を持つ」という言葉があり、それが安藤を旅へ駆りたてる強い動機になった。

　こうして、昭和四〇年から安藤の建築への旅が始まった。同年、大阪市の公園競技設計に一等入選。四四年、大阪・梅田の一角に事務所を開く。

▲"斜面が持つ強烈な個性"（安藤）を活かした「六甲の集合住宅」。「新建築写真部」

　安藤が、建築界に彗星のようにデビューしたのは、五一年の「住吉の長屋」だった。外壁は打ち放しのコンクリート。五七・三平方メートルの敷地を前、中、後に三分割し、前と後を居住部分に、中を中庭にした現代の長屋である。建築界はこの長屋に殴られたような衝撃を受け、安藤は日本建築学会賞を受賞した。以後、安藤の活動は、日本の建築界のみならず、世界の建築界をリードし続けている。

　専門の教育を受けず、独学で自分の建築を確立した安藤は、アメリカのエール大学、ハーバード大学の客員教授のほか、平成九年一一月から、東京大学工学部建築学科教授をつとめている。そのことについて安藤は、「教えることより教えられることの方が多いと思うが、お互いの対話の中から明日を見出していきたい」と語る。

◀安藤は、都市の住宅や教会を、コンクリート打ち放しの建築として設計した。そのコンクリートによる日本的感性の表現が、海外でも高い評価を受けている。 大竹静市郎

元上院議員ベニグノ・アキノ（五〇）が乗った中華航空機がマニラ国際空港に到着したのは、八月二一日午後一時五分だった。

飛行機にアコーディオン式の通路がつながると、空軍航空警察隊の兵士二人、首都圏警察本部の兵士一人が乗りこんできた。彼らは報道陣を遠ざけ、アキノを通路横のドアから地上に降りる鉄階段に連れていった。この飛行機にはテレビ、新聞、雑誌などの日本人取材陣が乗りこんでいた。松本敏之カメラマン（「朝日新聞」写真部、当時はフリー）は兵士の後を追い、もみ合いになったが、カメラを持った手を旅客機のドアからなんとか外に出し、シャッターを切った。

「その時、一発の銃声が耳に入り、しばらく間をおいて、M16自動小銃の銃声が聞こえました。意外でした。私はアキノ氏が逮捕されるだろうとは思っていましたが、まさか飛行場で銃殺されるとは思いませんでした」と松本氏は語る。

ベニグノ・アキノは後頭部から銃弾を撃ちこまれ、地上に倒れていた。また、その近くには、ロランド・ガルマンという名の男が射殺死体となって倒れていた。

当日夜、マルコス大統領（六五）は暗殺を非難する声明を出すとともに、政府の暗殺関与を否定し、「共産党に雇われたガルマンがアキノを暗殺した」と説明した。しかし、一二〇〇人もの警備陣で警戒されていた空港に、なぜガルマンは侵入できたのか。銃弾は後頭部から撃ちこまれているのに、ガルマンは位置的に下にいて、このような角度から銃を撃つことは不可能であるなど、大統領の説明には無理があり誰も信じなかった。

松本敏之（Sygma） インペリアル・プレス

決定的瞬間
まさに世界的なスクープ！
アキノ暗殺の直後を撮った
たった一枚の「カラー写真」

▶写真右下に倒れている白い服を着た人物が、射殺されたベニグノ・アキノ。その左手には、ガルマンの死体が。この後ただちにアキノの遺体は、脇に停車している空港警察用のバンに運びこまれた。

アキノ元上院議員がこの時期、三年間のアメリカ亡命を切り上げてフィリピンに帰国しようとしたのは、政治的な意味があった。重い腎臓病に冒されていたマルコスの症状が顕在化し、一八年も続いた長期独裁政権の後継者問題が浮上してきていたからだ。

「後継者は誰か」という問題で、次期大統領に最も近い位置にいたのはイメルダ大統領夫人（五四）だった。しかし、フィリピン国民が夫人を十分に支持しているとは言えない。一方、アキノは夫人を追い落とす可能性がある、最大の対抗馬であった。二八歳で出身地のタルラック州知事に、三四歳で上院議員、一九七二年の大統領選挙では大統領候補として有力視された大物政治家である。こうしたアキノを、マルコスは戒厳令布告（一九七二年九月）と同時に政府転覆・殺人の容疑で逮捕し、政治的に抹殺した経緯がある。その彼が反体制の英雄として「生命を賭して」帰国するというのは、イメルダ夫人にとっては見すごしにできない事態であった。

後に、一六人の実行グループが無期懲役の有罪判決を受けたが、マルコスの側近であるベール参謀総長が、イメルダ夫人の暗黙の了承のもとにアキノ暗殺をはかった、というのが一般的な見方である。マニラ国際空港で放たれた一発の銃弾。それは、マルコスにとっては、新たに国民全体を敵にまわす結果を招いた。

事件の三年後（一九八六年二月）、マルコス対アキノ夫人の大統領選挙が行われたが、不正選挙をめぐって国民の怒りが爆発し、マルコスはついに国外脱出に追いこまれる。

美の出会い

「辺境志向型」野町和嘉がナイル川全域を取材した写真集『バハル』の衝撃！

◀スーダンの草原で、牛とともに生きる男。彼は牛乳によって生き、牛糞を燃やしてマラリア蚊を防ぎ、その灰で歯を磨いている。

この年の六月、集英社から野町和嘉（三六）の写真集『バハル　アフリカが流れる』が刊行された。この写真集の刊行に際し、映画監督の大島渚が「これを見たあとではすべての写真がヒヨヒヨと弱々しくケチくさく見える。『バハル』は写真を超えている」という推薦の言葉を寄せるなど、豊かさの中で存在の根っこを見失った日本人に強烈なパンチを与えた。

本書は、世界最長の川ナイルを、源流から河口にいたるまで約七〇〇〇キロ旅して、三年にわたる過酷な条件下での取材を写真集としてまとめたものである。二万枚を超すポジフィルムから選ばれた一五八枚のカラー写真、九二枚のモノクロ写真、四〇〇字詰め原稿用紙二〇〇枚を超える取材記録など、かつていかなる写真家もなしえなかったナイル・ドキュメントができ上がった。すでに取材中からアメリカの「ライフ」、西ドイツの「シュテルン」、フランスの「フィガロ」などの雑誌に写真の一部が掲載され、野町の活動は各国から注目を集めていた。

アラビア語で「川」を意味する「バハル」は、アフリカ東北部ではナイル川のことをさす。野町がこのナイルの取材を思いたったのは、昭和四九年の長いサハラ取材での旅の最中のことだった。取材中に一文なしになり、身動きがとれなくなった時、乾き切った酷熱の中で、野町の眼前に同じサハラを貫流している枯れることのない永遠の生命、「幻想のナイル」が浮かび上がり、これを現実のものにしようと決意したという。

こうしてナイル取材は、昭和五五年一〇月、エジプトのロゼッタ河口から始まり、エジプト、スーダン、エチオピア、ウガンダの四ヵ国におよんだ。

「取材の最大の困難の地はスーダンだった」と野町は回想する。

「宿泊施設もなければガソリンもなし、道路事情は劣悪で、そのうえ、酷暑の続く旅でした。ただ幸運だったのは、この国で独立以来続く南北間の内戦が、取材の前後三年ほど、停戦状態だったことです。その後、内戦は再び泥沼化したまま現在にいたり、南部は外国人が近づくこともできない戦乱の地と化してしまっています。私が取材した村は、もうなくなっているかもしれない」

写真集『バハル』は、ウガンダとザイールの国境にある海抜五〇〇〇メートルを超すルウェンゾリ山地に挑むところから始まる。「どうせナイルを見るなら、ナイル源流の論争のきっかけとなった月の山、ルウェンゾリの頂で、最初の一滴が水流となって流れ出すところまで遡ってみよう」と野町は『バハル』に記している。

スーダンの巨大な沼地の外側に広がる草原で、牛の小便で頭を洗う裸の民と出会った野町は、最後のアフリカを見たと思う。ヌバ・マウンテンでは、体中に灰を塗ったヌバの男たちのレスリングに圧倒される。そして青ナイルの源流取材でエチオピアに入った野町は、下唇に皿を入れた女たちに出会う。この風習がなぜ始められたのかを問う野町に、奴隷商人たちから逃れるための窮余の策だった数百年前の悲劇がつきつけられる。こうして野町は、ナイル全域にわたって、そこで暮らす人々の生活に密着しながら取材を続け、「人間はどこから来て、どこへ行くのか」を問い続ける。

▲ディンカ族の男。南スーダン最大の部族で、人口約80万人。額につけた三重のV字の切り傷が部族の印。　野町和嘉　PPS（2点とも）

『雪国』の写真家・濱谷浩は、野町を評して、たんなる冒険野郎ではなく、好奇心だけの行動者、表現者でもないと言う。

「野町和嘉はアフリカの大地で自然と人間を見据えているけれど、それは常に日本と日本人、文明と文明人の現実を睨みあわせてのことであろう。そこに彼の行動力の源泉があるように私には思える。（略）野町和嘉という男が、日本の写真界では稀有の人物であることを私は痛感する」（野町和嘉写真集『モロッコ』）

濱谷は、野町の中に自分と同質なものを認め、現実にある実在そのものを重視するカメラマンだと見たのである。

サハラ取材に没頭していた頃から野町を知っているPPS通信社の常務取締役・清水昇氏は、野町のことを「辺境志向型」のカメラマンだと言う。

「これだけ時間をかけてテーマを追い、全体像を浮かび上がらせ、理解を深めて撮る写真家は、世界でも数少ないでしょう。彼は光のとらえ方を杵島隆先生のもとで十分に学んだこともあり、ドキュメントの分野でも素晴らしい光の読み方を提示している。野町は自信を持って撮っている」

翌昭和五九年、野町はこの『バハル』と『サハラ悠遠』（岩波書店）で土門拳賞を受賞する。三八歳という最年少での受賞だった。なお『バハル』は追加取材の後、一九八九年には『ナイル』と改題し、世界八ヵ国版として出版された。

20世紀博物館

パチンコミュージアム

愛知・名古屋市

現代のパチンコ・マシンの基本を作った人、正村竹一の〝足跡〟を追う

桑原茂夫

今や巨大産業に膨れ上がったパチンコだが、そのもとをたどると、正村竹一（明治三九年～昭和五〇年）という人にいき着く。現代のパチンコ・マシンの基本形とされている「正村ゲージ」を作った人だ。正村ゲージが世に出たのは昭和二五年のこと。この画期的な盤の出現を機に、パチンコは偶然性にたよるところの多いゲームから、テクニックを必要とする競技的なゲームへと、大きく変わっていったのである。

▶エポックを築いたマシンが並ぶコーナー。中央奥に、傾斜のある珍しいマシン（昭和三〇年・正村竹一製作）も見える。

その正村竹一に関する種々の資料をコレクションし、展示しているのが、この「パチンコミュージアム」で、二〇〇平方メートルの展示スペースに、パチンコのルーツではないかと考えられるイギリスの〝ウォールマシン〟四台のほか、開発当時の正村ゲージによるマシン、それ以前の「小物」と呼ばれたマシン、終戦直後から昭和四〇年頃までの、パチンコにエポックを築いた各種マシンなど、合計三八台のマシンが並んでいる。

どれも貴重品だが、すでに前世紀末にはイギリスで楽しまれていた〝ウォールマシン〟は、この博物館でなければめったに見られない宝物だ。これは、パチンコの起源をアメリカのコリントゲームに求める従来からの考えに、決定的な疑問を抱かせるほど、パチンコとよく似ている。盤面を立てて遊ぶという点や、バネではじかれた球が、ガイドレールぞいにぐるっと弧を描いてから落ちて、うまくすれば穴に入るというプロセスは、基本的にはパチンコとまったく同じなのだ。博物館のスタッフの一人、鈴木笑子さんが、正村竹一の足跡を追っているうちに、パチンコの起源にまで足を踏みこみ、ついにたどり着いたものだ。

▶パチンコのルーツと思われる、イギリスのウォールマシンのひとつ「サークルオブプレジャー」。一九一〇年頃のもの。ガイドレールがついていて、システムはパチンコそのものだ。

正村竹一という人は、スタッフにそこまでさせるような何かを残していった。実際、彼は正村ゲージを確立しただけではない。その製造に関する権利を私有することなく、広く業界に開放し、パチンコが産業として発展する素地を作った。そして、マシン生産を容易にするために、その規格化をはかった。これも博物館の一角で明らかにされている。

盤面の大きさを決めたのは、実は前面に嵌めるガラスだった。当時、温室用に製造されていたガラスを、厚さだけ一ミリ分厚くしてそのまま用いることにした。盤面に必要な合板には、輸出用の紅茶箱にガラスに合う大きさのものがあったので、その合板製作機を使うことにした。後は徹底的に堅さを追求した合板を仕上げればよかった。

◀正村ゲージの代表作。正村竹一が経営する正村商会が、昭和二五年に製作したもの。釘を列にするなど基本形は現在も同じ。月産二万台におよぶベストセラーとなった。

かくして正村竹一による、正村商会ブランドのマシンが大量に生産され、ほかの業者もそれにならって、パチンコブームを引き起こすことができたのである。

その後もチューリップや連発機などさまざまなエポック・マシンが登場するが、どれも基本は正村ゲージ。館内に並んだマシン自身が、そのことを教えてくれる。正村竹一は、まことに驚異的と言っていいヒットメーカーだったのである。

●パチンコミュージアム
名古屋市西区城西四—一九—六　正村ビル
☎〇五二—五三一—三六三八
地下鉄鶴舞線浄心駅下車、徒歩三分
開館時間＝一一時～一六時
休館日＝木曜日
入館料＝無料

▶昭和二一年製作の「小物」。このマシンは上段に入ると三個、中段は四個、下段は二個出るようになっていた。釘は全部で四一六本もある。

全国1347校もの卒業式に警官が立ち入り警戒
教師を殴る蹴る、放火……校内暴力が続出！
「荒れる教室」を招いたのは誰か

▲3月14日、名古屋市内で行われた中学の卒業式を、校門近くに立って監視する警察官。こうした警察官の出動数は、前年同時期に比べ、15パーセントも増加した。　朝日新聞社

全国の中学、高校で子どもたちが荒れ狂った。三月の卒業式には、全国で二二二五もの学校に警察官が出動し、校内暴力を防止しなければならなかったのである。これは中学・高校全体の七・七校に一校にもあたる。この背景には、学校の行きすぎた管理主義や、戦後民主主義教育を受けた親、〝シラケ世代〟の若い教員の登場など、さまざまな要因が錯綜していた。

卒業式には覚悟しておけ教師を恫喝する中・高生

神奈川県横須賀市の市立中学で、「卒業生を送る会」の席上、三年生の番長が、生徒指導担当の教師にいきなり殴りかかった。それを合図に、呼応した約三〇人の生徒が一斉に教師たちに襲いかかる。次々と椅子が投げつけられ、会場は大混乱となった。会を中止し、生徒を教室に戻そうとした学校側に対し、退場を命じられた番長が、二年生に向かって、「お前ら、やらないのか！」と扇動した。これをきっかけに、女子生徒二、三人を含む二年生十数人が校庭に出、教師の車を蹴りつけ、ガラス窓をたたき壊した。昭和五八年三月五日午前の出来事である。

この年、こうしたトラブルが、全国の中学、高校で頻発していた。

「中学生が校舎の廊下にライターで放火」（昭和五八年二月七日、北海道）、「消火栓あけ、校舎を水攻め」（三月一七日、大阪）、「二四歳女性教師にイタズラ、中三男子を強制猥褻で逮捕」（一月二二日、大阪）、「小六男子が担任を警棒で殴る」（三月一七日、大阪）。

これらは、昭和五八年の二月と三月の新聞縮刷版から、ごく一部をピックアップしたものだ。そしてちょうどこの時期、おびただしい数の教師が「卒業式には覚悟しておけ」などの恫喝を生徒から受けていたのである。

これに対し、警察庁は、威信をかけて卒業式警備にあたった。同庁は、三月、各都道府県警に、「校内暴力事件の防止に全力をあげるよう」指示した。その背景には、前年の昭和五七年一年間に、一九六一件の校内暴力事件が発生し、四二六七人の児童・生徒や教師が被害に遭い、八九〇四人が補導されるという事態があったからだ。この数は五五年、五六年よりは減ったとはいえ、依然、校内暴力は横行していたのである。

この年の卒業式で警察官が警戒した中学、高校は、全国で実に二一二五校にものぼった。全国の中学、高校の七・七校に一校の割で警官が出動した計算になる。しかもその六割以上の一三四七校では、警察が校内にまで立ち入っている。そのうち中学が九割を占め、残りが高校という内訳だった。都道府県別に見ると、最も立ち入り警戒が多かったのは大阪府の一二三校。神奈川の一〇一校、京都の四六校が続いた。立ち入り警戒の約七割が学校側の要請による出動だった。

こうして昭和五八年の卒業式は警察力でおさえつけたため、暴力事件は全国で三件にとどまった。

校内暴力の背景にあった学校側の強い管理主義

「子どもの視点に立ち、同じように悩み、語りかける」熱血教師を主人公としたテレビドラマ「3年B組金八先生」の放送開始は、四年前の昭和五四年一〇月のことだった。そして武田鉄矢が演じた金八先生は、中学生たちに熱狂的に迎えられ、次々と続編が作られた。それは、現実にはほとんどいなくなった、話がわかる教師、一緒に喜び、嘆き、怒ってくれる教師を求める中学生の切実な気持ちを反映したものだった。

やはりこの年の三月に、総理府が興味深い世論調査を発表している。子どもを学習塾にかよわせたり、家庭教師をつけていると答えた親は、全国平均で三六パーセント、東京都区部で五八パーセント、十大都市平均で四〇パーセントに達することが明らかとなった。そして同時に、教師の資質向上を望むと答えた親が四五パーセントにも達していることも判明した。半数近い親が、教師の質に不満を持ち、塾にかよわせている、と答えたわけだ。

また、この年一月から二月にかけ、横浜で中学生グループがホームレスを襲い、三人を殺し、一三人を負傷させた事件が発生した。犯人グループの出身家庭には、金銭的にも恵まれ、過保護とでもいうべきありふれた中流家庭も含まれていた。つまり、どこにでもいる恵まれた家庭の子どもからも、こうした事件を起こすものが現れたことが一般に大きなショックを与えたのである。こうした家庭の親たちは、戦後民主主義教育を真っ先に受けて育った世代だった。濃淡の差こそあれ、「子どもの個性、自主性の尊重」を建て前に子育てし、結果的に子どものモラルや感情をコントロールする力の涵養をおこたったとも指摘されている。

こうした教師や学校への不信、親の世代の責任など校内暴力の背景を、当時から取材を続けているノンフィクション作家・吉岡忍氏は別の側面から分析する。

「当時は、一九六〇年代から七〇年代初頭にかけての学生運動対策の名残で、学校がきわめて強引な生徒管理をしていた。特に校内暴力が目立ったのは、管理主義が極端に強い郊外の新設校です。組合対策として、上意下達に従順な体育会出身の若手教師が多く配属されたのも新設校だったし、それに対する子どもたちの直接的な反発も校内暴力のひとつの要因でした」

それに加えて、昭和五四年の第二次石油ショック後の就職難の中で、"シラケ"、"無気力"世代に属し、成績こそよいが、自己主張も、社会経験もない教師が大量に生まれた。彼らが校内暴力にはほとんど対応できなかったことも、学校の荒廃に輪をかけたと言える。こうしたさまざまな要因が複合して、校内暴力の嵐が吹きまくったのである。さらに、この頃から攻撃性が仲間うちに向かう陰湿な、子ども同士の「いじめ」も目立ち始めていた。そして「いじめ」は、翌昭和五九年あたりから、大きな社会問題としてクローズアップされ始める。

▶二月一五日、東京・町田市忠生中で、教師が暴力的な生徒をナイフで刺す事件が発生。破壊され、間仕切りがない忠生中のトイレ。

石川文洋　朝日新聞社

▲忠生中の割られたガラス戸。教育現場が、ついにここまできたかという荒廃ぶりを示している。　読売新聞社

▶二月二八日、大阪府寝屋川市内のショッピングセンター前で、中学生の男女二〇人が乱闘。その際使われた四本の模造刀。

朝日新聞社

7~8月

フォト＋日録で再現する365日

共同通信社

▲**北炭夕張炭鉱、再建断念（7月11日）**昭和56年のガス突出事故後、再開がはかられたが、経営見通しは悪く、宇野通産相が閉山を決断。石炭復権の象徴は蘇らなかった。写真は、通産省前で閉山抗議のハンストに入る炭労の野呂委員長ら。

▶**廃油入りドラム缶200本爆発（7月29日）**大阪市東淀川区の日興石油化学が、工場敷地に野積みしていたところ、次々引火。近くの住民約1000世帯が避難、従業員二人が重傷を負った。

共同通信社

読売新聞社

▶**島根に集中豪雨（7月22日）**23日にかけて梅雨前線が活発化、河川氾濫、崖崩れが相次ぎ、死亡・不明107人を出す惨事となった。写真は、破壊された三隅町の三隅川橋梁。

共同通信社

▲**日本唯一の監獄博物館「網走監獄」オープン（7月6日）**保存財団が旧網走刑務所の煉瓦門、舎房などを網走市の呼人に移築、併せて器物などを展示した。写真は、北海道の道路開削工事に従事させられる囚人と看守の人形。

▼**ＡＩＤＳ容疑を否定（7月18日）**厚生省エイズ研究班（班長・安部英）は、帝京大病院で死亡した患者をエイズと認定せず、血液製剤の輸入禁止など、特別な措置は必要ないと発表した。

時事通信社

▶**免田事件に無罪（7月15日）**昭和23年熊本県人吉市で起こった祈禱師一家殺傷事件の再審で、熊本地裁が判決。死刑囚が初めて救済された。写真は、34年ぶりに帰宅した免田栄さん（57）。

共同通信社

昭和58年7月

1（金）●新車検制度実施。車検期間を三年に延長。
2（土）●新日鉄、米S・メタルズ社の買収破談と発表。米国防総省が軍事技術流出をおそれたため。
3（日）●米のカルビン・スミス、一〇〇㍍に九秒九三の世界新記録。一五年ぶり〇秒〇二短縮。
4（月）●国士舘大の学内抗争で総長派が常務理事刺殺。●日本電気の英半導体工場開所式に、エリザベス女王が異例の出席。
5（火）●京都で指紋押捺拒否の韓国人短大講師逮捕。●帝京大病院の血友病患者が死亡（8月29日来日中の米の研究者スピラがエイズと診断）。
6（水）●建設省、都市再開発のため建築規制緩和決定。
7（木）●都内で二つの愛人バンク摘発。七人逮捕。●国際人道問題委員会発足。副議長に緒方貞子。
8（金）●米でエイズ一七〇〇人、死亡六五〇人と発表。
9（土）●自然志向ブームで麻の衣料が人気、と新聞に。
10（日）●主婦の就業がふえ半数を超えたと総理府。
11（月）●厚生省、四日の血友病患者用加熱血液製剤の輸入方針を転換、非加熱製剤の継続を決める。
12（火）●仙台地裁で松山事件再審開始。死刑囚三人目。
13（水）●英下院、死刑復活法案を大差で否決。
14（木）●蜷川幸雄演出「王女メディア」、ギリシャ公演。
15（金）●熊本地裁、免田事件再審公判で免田栄に無罪。死刑囚には裁判史上初の再審無罪判決。●任天堂、「ファミリーコンピュータ」発売。
16（土）●帰化後の姓名は本人の意思尊重と法務省通達。
17（日）●関東大震災六〇年で都下全消防署が一斉演習。
18（月）●東芝、韓国に業界初のIC製造技術を供与。
19（火）●ジュネーブで欧州初の広島・長崎原爆展開催。
20（水）●隆の里、五九代横綱に決定。
21（木）●福岡高裁、NHKへの韓国人名原音読み訴訟で「日本語読みは慣用」と訴えを棄却。
22（金）●島根県中心に山陰で豪雨。死亡・不明一〇七人。
23（土）●高倉健主演「南極物語」封切（国内配収新記録）。
24（日）●第一回マイコン利用者認定試験、実施。
25（月）●米の「タイム」誌、日本を特集し「尊敬されるが愛されない国」と論評。
26（火）●著作権審議会、著作者に貸与許諾権認める。
27（水）●経企庁、五五年三月以来の長期不況終息宣言。
28（木）●学術審、病原菌遺伝子の組み換え実験を是認。●専修・各種学校進学が大学上回ると都調査。
29（金）●厚生省、食品添加物の個別表示義務化を決定。
30（土）●平和構想懇談会（世話人・隅谷三喜男ら）発足。
31（日）●一級水系の七割が環境基準以下と建設省調査。

証言・あの日この日
三田誠広（35）

10月12日（水）〈夕方起きてテレビをつけると、田中角栄のニュースばかりやっている。ふだんはニュースなどにまったく興味を示さない小学二年の次男が、「目白台」という言葉を聞きとがめて、びっくりして振り向いたのがおかしかった〉（三田誠広『すずめ台つれづれ日記』）

若くして芥川賞作家となった三田誠広は、八王子市「めじろ台」という新興住宅地に住んでいる。一方、ロッキード事件の被告で元総理の田中角栄が住むのは文京区「目白台」。何となく無関心ではいられない。この日、田中角栄に懲役4年・追徴金5億円の実刑判決が下ると、夕方のテレビは激しい田中批判を繰り返し、共産党の宣伝カーは表通りを走りまわる。しかし三田は思う……政治システムの問題を無視し、田中角栄一人に憎悪を向けるマスコミこそ異常ではないか、と。（山崎行太郎）

毎日新聞社

▲**河口湖またあふれる（8月18日）**台風5号の影響で、15日から山梨県山間部が断続的豪雨に見舞われ、水位がうなぎのぼり。周辺の住居・旅館は、前年同様水浸しとなった。

▶**世界初の盲人マラソン（8月28日）**大阪市住吉区の長居陸上競技場などで行われ、全国の14～69歳の目の不自由な177人が参加、健脚を競った。伴走者の中にボストンマラソン優勝者・山田敬蔵さんの顔も。

共同通信社

▼**仏軍、チャド内戦に介入（8月10日）**中北部の拠点がリビア支援の反乱軍に占拠され、大統領アブレが救援を要請。チャドは1964年の革命以来、内戦状態にあった。写真は進攻する仏軍。

◀**日教組大会、公共施設閉め出し（8月30日）**岡山県湯原町の会場は、史上初の急造プレハブの大会となった。槇枝委員長は、右翼団体の陳情による、県の施設閉め出し決定を強く批判した。

共同通信社

ロイター・サン 共同通信社

▼**冷夏、北海道を直撃（8月25日）**農林水産省が稲作の作柄概況を発表。記録的低温のため、平年の8割に満たない「凶作」の予報。写真は「例年ならこのくらい」と、生育不良を嘆く酪農家。

共同通信社

昭和58年8月

1（月）●原水禁世界大会開幕。中国が一八年ぶり参加。
2（火）●リニアモーターカー走行実験で時速四〇〇㌔。
3（水）●公取委、セメント二二社の不況カルテル認可。
4（木）●宮城県内の東北新幹線第一高清水トンネルで「やまびこ35号」にはねられ少女死亡。
5（金）●文部省、都道府県教委に道徳教育徹底を通知。
6（土）●被爆者団体、原爆養護ホームで「病は気から」と発言した中曽根首相に抗議声明。
7（日）●成田空港―千葉港間の燃料パイプライン完成。
8（月）●都市公園の利用者は六年で倍増と建設省調査。
9（火）●育英奨学金を年利三％で二〇年返済と決定。
10（水）●仏、中央アフリカのチャド内戦に軍事介入。
11（木）●高校進学率が初めて下降、と文部省調査。
12（金）●防衛庁、パトリオット・ミサイルの導入決定。●海上保安庁、衛星測地の結果、日本列島の位置は従来より四七〇㍍北西と閣議報告。
13（土）●全国の金融機関で第二土曜日の休日制実施。
14（日）●東京・渋谷で七時間の「反戦マラソン演説会」。
15（月）●ソニー、テレビ電波をデジタル信号に変換して画像を作るデジタルテレビを開発。
16（火）●中国政府、野生パンダの餓死救出を開始。
17（水）●東京都、ヨーグルトなど糖分摂取過多に警告。
18（木）●大友克洋の劇画『童夢』刊行。●自動車労連、日産の英工場進出に反対表明。
19（金）●海外での日本人被害増加と在外企業協会発表。
20（土）●日大製作の世界初の潮流発電装置、実験開始。
21（日）●マニラ空港で上院議員ベニグノ・アキノ暗殺。
22（月）●東京都、下水汚泥の焼却灰から建築資材の開発に成功し、日産三万㌧の本格製造開始。
23（火）●三菱銀行、米の上場銀行バンク・オブ・カリフォルニア買収の仮契約に調印。●就職用に美容整形する女子学生急増と新聞に。
24（水）●農水省、温州みかんの第二次減反実施を決定。
25（木）●ブナ原生林視察団、白神山地の青秋林道工事の見直しを青森県に要請。
26（金）●環境庁、ゴルファーに緑化協力金要請と通知。
27（土）●鹿児島県の川内原発が臨界に達し試運転開始。
28（日）●中野浩一、世界自転車選手権初の七連覇達成。●日中合作映画「未完の対局」、モントリオール映画祭でグランプリを獲得。
29（月）●本田技研、オートバイ減産と配置転換を発表。
30（火）●日教組定期大会、公共施設利用を拒否され岡山県湯原町の急造プレハブ会場で開催。
31（水）●日立、二・六㌅光磁気ディスク開発と発表。

読売新聞社

▲「コートの女王」に15歳の雛子 牟田明子(9月17日)大阪で行われた第58回全日本テニス選手権シングルス決勝で、岡本久美子(18)をストレートで下し、大会史上最年少、中学3年生のチャンピオンが誕生した。

桑原史成

▲動く巨大基地「カールビンソン」佐世保入港(10月1日)8万1000トンの世界最大の米原子力空母。「非核3原則のなし崩し反対」と、革新団体などの海上デモが取り巻いた。

▼「一人乗り世界一周」のヨットマン凱旋(9月18日)前月17日、約207日目にみごと1着で米東海岸に到着した多田雄幸(53)。活躍した「オケラ5世」とともに三浦海岸に到着した。

読売新聞社

AP／WWP

▲「ミス・アメリカ」に黒人学生(9月17日)ニュージャージー州の全米美人コンテストで、1921年の開催以来初めて選ばれた。身長168センチの優勝者は、バネッサ・ウィリアムズ(20)。

共同通信社

▶日本初の聴導犬公開(9月18日)東京・青山で、日本小動物獣医師会がシェパードなどへの訓練の成果を披露。ノックや電話の音などを聞くと、主人に知らせた。

時事通信社

▼国立能楽堂開場(9月15日)能楽の発展を期して建立。檜の香もゆかしい堂宇で、国立劇場会長・今日出海が挨拶、観世・宝生・喜多が「弓矢立合」を行った。

昭和58年9月

1(木)●ソ連戦闘機、サハリン西方で領空侵犯の大韓航空機を撃墜。二六九人死亡。
2(金)●私立高の退学者は六四六四人と東京都公表。
3(土)●長崎・浦上天主堂の被爆した聖アグネス像が国連本部に永久展示されるため出発。
4(日)●新薬開発で二億円受領の岐阜薬科大学長逮捕。
5(月)●石油公団と出光石油開発、中国と海南島周辺の大陸棚油田開発契約に調印。
6(火)●最高裁、みどりちゃん殺人事件(56年)で犯人とされた少年に初の「再審」決定。
●自治省、住居表示に既存町名の尊重をと通達。
●佐賀県観光連盟、「おしん」の嫁いびりは県の印象害すとNHKに抗議。
7(水)●予防衛生研の技官、不正検定で逮捕(製薬会社と厚生省の新薬産業スパイ事件に発展)。
8(木)●厚生省、永住帰国する中国残留孤児の養父母に三九万円の扶養費支払いを決定。
●元大正製薬名誉会長の故・上原正吉の遺産が、過去最高の六六九億円と国税庁の調べで判明。
9(金)●ソ連、大韓航空機撃墜をスパイのためと発表。
10(土)●厚生省の脳死に関する研究班、初会合。
11(日)●学校の米飯給食は週一・八回で不振と新聞に。
12(月)●東京の為替市場、円が急騰し一ドル二四二円。
13(火)●政府、日ソ定期航空便の二週間停止を決定。
14(水)●環境庁、オオタカなど六種の猛禽類を売買禁止の「特殊鳥類」に指定と決定。
15(木)●国立劇場能楽堂(東京・千駄ケ谷)開場。
16(金)●富士吉田市、ベストセラー『富士山大爆発』の著者に対し信用棄損での告発を決める。
17(土)●ミス・アメリカに初めて黒人女性が選ばれる。
18(日)●「江差追分」全国大会で外国人が初の特別賞。
19(月)●ライオン、デジタル表示の体温計発売と発表。
20(火)●民間給与所得者が所得税の半分負担と国税庁。
21(水)●琵琶湖のあおこ過去最大の一五万平方メートル発生。
22(木)●雫石事故(46年)は自衛隊に責任と最高裁。
23(金)●食用廃油利用した石鹸作りが広まると新聞に。
24(土)●NHKドラマ「おしん」視聴率、最高の六二パーセント。
25(日)●隆の里、新横綱として双葉山以来の全勝優勝。
26(月)●横浜地裁、痴呆症の妻殺害の夫に執行猶予。
27(火)●中小企業中央会、高卒男子と短大卒女子の初任給が一〇万円超え、求人意欲も旺盛と発表。
28(水)●小錦、十両に昇進(二人目の外国人関取)。
29(木)●ロンドン市長に初めて女性が就任。
30(金)●申告もれが初の一兆円突破と『法人税白書』。

共同通信社

▲田中元首相に実刑判決(10月12日)ロッキード事件丸紅ルート公判で、東京地裁が懲役4年、追徴金5億円を宣告。地裁を出た田中(写真)は、「不退転の決意」を表明した。

▼ラングーンで爆弾テロ(10月9日)韓国大統領・全斗煥が参詣予定のビルマ国立墓地で時限爆弾が爆発、大統領は助かったが、4閣僚など21人が死亡、48人が負傷した。後に北朝鮮工作員のテロと断定された。

AP／WWP

▼三宅島大噴火(10月3日)21年ぶり。噴煙は1万メートルに達し、溶岩流のため南西側集落の約9割、413棟が全壊した。避難が功を奏し、死者は出なかった。

共同通信社

AP／WWP

▲米軍、グレナダ侵攻(10月25日)レーガン大統領は島の米人約1000人の安全を守るためと、カリブに浮かぶ人口11万人の島国に、米海兵隊など2300人を上陸させ、キューバ軍支援の親ソ派軍事政権を倒した。

AP／WWP

◀ワレサ議長にノーベル平和賞(10月5日)ポーランド自主管理労組「連帯」を率い、労働者の権利確立に尽力したことなどが評価された。写真は12月10日、夫人が出席した授賞式をラジオで聴くワレサ(40)。

読売新聞社

▲泉重千代、長寿世界記録を更新(9月26日)118歳2カ月29日になり、故・小林やその記録を1日抜いた。泉は鹿児島県徳之島に在住、医師の診断では血圧、心電図とも正常だった。昭和61年、120歳で死亡した。

昭和58年10月

1(土)●築城四〇〇年を記念する大阪城博覧会開幕。
●土門拳記念館、酒田市に開館。
2(日)●中学生の八割が登校拒否の願望と学会報告。
3(月)●伊豆七島の三宅島で大噴火。四〇〇戸全壊。
●アムネスティ、日本政府に死刑廃止を勧告。
4(火)●豊かな社会を実現した日本の社会保障制度は、量的拡充からの転換期にあると『厚生白書』。
5(水)●三井不動産、霞が関ビルのINS(高度情報通信システム)化計画を発表。
6(木)●小判埋蔵との「お告げ」信じ、群馬県史跡を掘り返した元教員ら九人が書類送検される。
7(金)●マル優悪用の不正預金は五兆円と国税庁推計。
8(土)●山岳同志会の川村晴一ら、南稜ルートから日本人初のエベレスト無酸素登頂に成功。
9(日)●ビルマで爆弾テロ。韓国四閣僚ら二一人死亡(11月4日ビルマ政府、北朝鮮の犯行と断定)。
10(月)●鈴鹿でヒストリックカーフェスティバル開催。
11(火)●上期の貿易黒字は一二六億三三〇〇万ドルで史上最高、と大蔵省貿易統計。
12(水)●東京地裁、ロッキード事件丸紅ルート公判で田中角栄元首相に懲役四年の実刑判決。
13(木)●山下泰裕、世界柔道選手権で三連覇。
14(金)●田中角栄、法廷内撮影した「FOCUS」告訴。
●英で『ギネスブック』刊行。表紙は泉重千代。
15(土)●水害で半壊した長崎の重文「眼鏡橋」復元。
16(日)●心臓ペースメーカー定着、約五万人と新聞に。
17(月)●中教審小委、習熟別学級の中学導入案を策定。
18(火)●警視庁、私大医学部への裏口入学斡旋よそおい二億円詐取の文化女子大教授ら四人を逮捕。
19(水)●ブラジル、経済再建で六〇日間非常事態宣言。
20(木)●趙治勲、囲碁名人戦で史上初の四連覇。
21(金)●広島県林業試験場、松茸の人工発生に成功。
22(土)●西独で米中距離核ミサイル配備反対の大集会。
23(日)●北海道の国鉄白糠線廃止。地方線廃止一号。
24(月)●滋賀県今津町で古代の大規模官庁遺跡発掘。
25(火)●米軍、グレナダ侵攻作戦開始。
26(水)●国営昭和記念公園(米軍立川基地跡)開園。
27(木)●日本橋高島屋、高級料亭宅配サービス開始。
28(金)●奥鬼怒スーパー林道の延長工事に着手。
29(土)●マレーシアの日系真珠企業に強盗。三人死傷。
30(日)●万博記念公園でのデヴィッド・ボウイーのコンサートで五〇人が将棋倒し。一人意識不明。
31(月)●東京都、近県の地価高騰などで転出が減少、人口は史上最高の一一七四万余人と発表。

山之上雅信

共同通信社

▲レーガン大統領来日（11月9日）迎賓館で天皇と会見した後、3日間にわたる首脳会談。日本に一層の防衛努力を求め、中曽根首相は「西側の一員」の役割を担うと約束。写真は、歓迎式典にのぞむレーガン夫妻と天皇。

▲劇団四季「キャッツ」開幕（11月11日）ブロードウェーで大当たりをとった野良猫たちが歌い踊るミュージカルを、浅利慶太が演出、東京・西新宿の特設テント劇場で上演。翌年10月10日までのロングランとなった。

▼小樽運河埋め立て（11月12日）交通渋滞緩和のため、6車線の道道小樽臨港線を計画、幅20メートルが犠牲になる。市民団体「小樽運河百人委員会」が市民の半数を超える署名を集めて中止を訴えたが、市は杭打ち工事を始めた。

北海道新聞社

読売新聞社

▶「つま恋」でガス爆発（11月22日）静岡県掛川市の娯楽施設内のバーベキューガーデンで、プロパンガスが発火。建物が崩壊し、アルバイトの女子大生ら14人が死亡、27人が重軽傷。原因はガス栓の締め忘れだった。

共同通信社

▲巨人軍、王貞治（43）監督誕生（11月8日）藤田監督のもとで、助監督を3年つとめた後の既定の路線だった。通算868本塁打の記録を持つ世界の大打者らしく「攻撃型野球をめざす」と抱負を語った。写真は、藤田（左）と握手する王。

▼損壊された兵馬俑復元（11月30日）大阪城博覧会展示中、22日に暴漢が壊したものを、日中両国の技術者が復元させた。兵馬俑は中国・秦の始皇帝陵に埋葬された陶製の人形。

共同通信社

昭和58年11月

1（火）●サラ金規制二法施行。利率上限七三%、暴力的な取り立て・過剰融資・誇大広告を禁止。

2（水）●水田利用再編第三期対策決定。米備蓄を開始。

3（木）●身障者専用列車、信越線など九線区で運行。

4（金）●石油審、元売り一三社に再編強化を要請。

5（土）●期限つき雇用の女性契約社員が増加と新聞に。

6（日）●ニューヨーク進出の外国企業で、三割占める日本が一位、仏、英、西独の順、と新聞に。

7（月）●奈良県明日香村のキトラ古墳、ファイバースコープで石槨内の彩色壁画が確認される。

8（火）●鎌倉市で、連凧揚げ五五八一枚の世界記録。

9（水）●レーガン米大統領、来日。

10（木）●東京の浅草松竹演芸場、四〇年で閉館。

11（金）●劇団四季、新宿テントで「キャッツ」開幕。
●初のCATV会社、町田市で設立許可される。
●医師一七万六四人で目標をほぼ達成と厚生省。

12（土）●市民の反対押し切り小樽運河埋め立てに着工。

13（日）●釧路・屈斜路湖畔でアイヌ民族の神事・イオマンテが七五年ぶり復活。
●ミスターシービー、菊花賞を制し三冠馬に。

14（月）●安永徹、ベルリン・フィルの首席コンサートマスターに日本人として初めて選出される。

15（火）●北朝鮮、「第一八富士山丸」拿捕、船長ら抑留。

16（水）●政府税調、間接税拡大など増税を首相に答申。

17（木）●環境アセスメント法案が衆院で廃案確定。

18（金）●愛媛大教授・立川涼、松山市のごみ焼却場九カ所からダイオキシン検出と発表。

19（土）●ライフル射撃協会、五輪優勝に功労金と決定。

20（日）●佐々木七恵、東京国際女子マラソンで日本人として初優勝。記録は二時間三七分九秒。

21（月）●野坂昭如、田中角栄の新潟三区で立候補表明。

22（火）●掛川市のレクリエーション施設「つま恋」でプロパンガスが大爆発。一四人死亡。

23（水）●胡耀邦中国共産党総書記、来日。

24（木）●日本の国家公務員給与は世界三位とIMF。

25（金）●東京都建設懇談会、都庁の新宿移転を答申。

26（土）●国鉄の不要支出二二〇〇億円と行政監察結果。

27（日）●日本サッカーリーグで読売クラブがフジタ工業破り初優勝（クラブチームでは初めて）。

28（月）●日本学術会議法改正公布。会員を首相任命に。
●大分地裁、総額一〇億円の五千円札を偽造した元印刷会社社長に懲役一〇年の実刑判決。

29（火）●サントリー、仏ワイン・メーカー買収を発表。

30（水）●テレビ会議システム導入企業相次ぐと新聞に。

毎日新聞社

▶「キャベツ畑人形」に熱い視線（12月24日）横浜のデパートが72体を展示。アメリカで爆発的人気のぬいぐるみで、種類が6000もある。翌年2月発売、1体6500円。

◀野坂昭如、新潟3区で立候補（12月11日）「金権」田中角栄元首相の落選をはかり、同じ選挙区で戦った。結果は次点。田中は過去最高の票を獲得した。写真右は長岡市での演説を応援する吉永小百合。

共同通信社

◀奥崎謙三、終わらない戦後（12月15日）ニューギニア戦線での元上官を広島県大竹市に訪ね、応対した長男に発砲し、重傷を負わせた。奥崎（63）を主人公とする記録映画「ゆきゆきて、神軍」（原一男監督）を製作中だった。

原一男／疾走プロダクション提供

▲「ダグラスDC-8」、国内線引退（12月24日）昭和35年国際線に初就航して以来、日本航空の花形機として活躍してきたが、騒音規制には勝てなかった。写真は最後のフライトとなった羽田発札幌行きの「DC-8」。

◀史上初、高校生のアマ横綱誕生（12月11日）蔵前国技館で行われた全日本相撲選手権決勝で、和歌山の久島啓太（18）が高校教員の江口末広を寄り切った。久島は3年連続高校横綱。「北の湖2世」の評も。

▶スペインの空港で旅客機激突（12月7日）濃霧のため、バラハス空港でスペインの国内線機とイベリア航空機が滑走路上で衝突・炎上。日本人34人を含む93人が死亡した。

朝日新聞社

ロイター／サンテレフォト

昭和58年12月

1（木）●米スペースシャトルへの搭乗員募集開始。
●尾崎豊、「15の夜」でレコードデビュー。

2（金）●フグの肝臓の販売・調理を禁止と厚生省通知。

3（土）●本四架橋のうち因島大橋の開通式挙行。

4（日）●中曽根首相、「金権」政治を批判する野党を「倫理、倫理と鈴虫のよう」と非難。

5（月）●文部省、校内暴力対策として中学生の出席停止処分の運用指針を通達。校長の判断を重視。

6（火）●電電公社、自動車電話を全国に拡大と発表。

7（水）●スペインで旅客機衝突。日本人三四人死亡。

8（木）●愛人バンク一号「夕ぐれ族」、売春周旋で摘発。

9（金）●三浦雄一郎、南極最高峰で二〇キロ滑降に成功。

10（土）●ノーベル賞の受賞式にワレサ議長出席できず、一五〇〇人がオスロ市内を異例の抗議デモ。

11（日）●久島啓太、高校生初の全日本相撲選手権優勝。
●甲子園ボウルで京大が日大下し初優勝。

12（月）●Y・M・O、武道館で解散コンサートを行う。

13（火）●品川区の男児誘拐犯、身代金授受現場で逮捕。

14（水）●大卒男子の初任給一三万円と労働省調査。

15（木）●奥崎謙三、軍隊時代の上官の長男に発砲。

16（金）●アイヌ舞踊を重要無形文化財にと審議会答申。
●写真週刊誌「FOCUS」、一七八万部を突破。

17（土）●IRA（アイルランド共和国軍）、テロ再開。ロンドンのハロッズ・デパート爆破し五人死亡。

18（日）●第三七回総選挙。自民党大幅減で与野党伯仲。

19（月）●江夏七八〇〇万円、田淵六八〇〇万円など、年俸五〇〇〇万円突破選手は一〇人と新聞に。

20（火）●戦後初の女性代議士、山口シヅエが引退。
●内部抗争激化のPLO、兵士四〇〇〇人がレバノン撤退、アラファト議長はチュニスへ。

21（水）●秩父市の荒川河床で一五〇〇万年前の鯨の化石発見、と埼玉県自然史博物館などが発表。

22（木）●第三セクターの三陸鉄道、盛―釜石敷設完了。

23（金）●宅配便の扱いが郵便小包を抜くと「運輸白書」。

24（土）●自民党、田中角栄の影響排除と総裁表明発表。
●防衛庁でポルノビデオ鑑賞会（七人処分）。

25（日）●前年度公害苦情は騒音、悪臭の順と総理府。

26（月）●国鉄責任の死亡事故ゼロが一〇年に。戦後初。

27（火）●第二次中曽根内閣発足。新自由クラブと連立。

28（水）●米政府がユネスコからの脱退を宣言。

29（木）●三宅島の住民集会、米軍基地設置反対を決議。

30（金）●法務省、外国姓の戸籍編成に向け法改正決定。

31（土）●離婚件数は、前年比約八%増の一七万八〇〇〇組で記録更新、と厚生省人口動態統計。

流行語
ソフトな時代のキーワード

「軽・薄・短・小」。この年の代表的な流行語で、これからの時代は軽くて、薄くて、短くて、小さいものが求められるという意味。前年秋、日本経済新聞社から出版された『時代は「軽・薄・短・小」』という本から出たもので、「重・厚・長・大」というこれまでの経済構造が変化したことを表す言葉だが、生活や文化などいろんな面に応用された。

◀4月30日、阪急の福本(右)、バンプ(左)の駿足コンビと元競走馬が人馬レースを行い、バンプが1着に。

時事通信社

「ちゃっぷい、ちゃっぷい」。金鳥の使い捨てカイロのCMで使われた台詞、「寒い、寒い」の意。桂文珍と西川のりおが、古代人に扮して出演した。製作は大阪電通。

「いいとも」。フジテレビのお昼の番組「笑っていいとも!」から生まれた言葉。司会のタモリが「○○していいかな」と会場に呼びかけると、客が一斉に「いいとも」と応じる演出が流行源に。

「義理チョコ」。バレンタインデーに、OLが上司や同僚に義理で贈るチョコレート。この年あたりから使われ始め、現在は贈る相手が家族や友人にまで広がっている。

「発展途上人」。サントリー・ホワイトのTVコマーシャルで、菅原文太が若者をさして言う台詞。若者を表す新しい言葉として流行。

ヘアとメークを変えて スターのそっくりさんに

東京・原宿に「あなたを憧れのスターそっくりにしてあげます」といううたい文句で、若者に大受けの美容室がある。ヘアスタイルだけでなく、メークまでそっくりにしてくれるところがミソ。

店長によると「週刊誌のスターの切り抜きを持ってきて、こんな髪形にしてくれという若い人が多い。で、ヘアはそっくりにしてあげるんですが、顔は少しも似ていない。だから髪形も似合わない。どうせなら顔もそのスターに似せてあげようとメークも始めた」。

スターと顔の骨格やポイントが多少似ていれば、ほとんどそっくりになるが、逆に骨格がまったく似ていない人はだめなので、どんなに頼まれても断る。客の九割は女性で、人気は松田聖子と松坂慶子。男性ではY・M・Oの坂本龍一が断然人気という。

(「週刊読売」五月八日号)

食
週末の深夜に注文殺到! お酒のつまみの出前屋

埼玉県川越市に登場した「お酒のつまみの出前屋」が、深夜族の若者たちの人気を集めている。始めたのは市内の居酒屋さんで、不景気で売り上げがガタ落ち。何とか挽回したいと、奥さんとチエをしぼったすえ、この出前屋を思いついた。メニューは店と同じで二十数種類あるが、料金は枝豆二五〇円、サラミ三五〇円、カラ揚げ四〇〇円など、店より五〇円安。営業時間は午後六時から翌朝午前三時までだが、ウイークエンドの深夜ともなると、若者からの注文がドッと来るという。

(「内外タイムス」八月一〇日)

CM100年 タレント・斉藤慶子、蟹江敬三

テレビCF「人間だったらよかったんだけどねえ ——日刊アルバイトニュース」(学生援護会)

◀弘兼憲史作「課長 島耕作」の連載が、「コミックモーニング」で始まる。後に田原俊彦主演で映画化された。

©弘兼憲史/講談社

ブーム
「吉里吉里国」登場後 ミニ"独立"国続々誕生

六年前、大分県宇佐市に誕生した「新邪馬台国」がミニ独立国の第一号だが、昨年六月、井上ひさしさんの小説『吉里吉里人』がきっかけで、岩手県大槌町に「吉里吉里国」が登場するとブームに火がつき、今年は「ヨロンパナウル王国」(与論島)、「サンサン王国」(奄美大島)、「ジパング国会津芦の牧藩」(会津若松市)などが相次いで"独立"。最近も「さんさい共和国」(新潟・入広瀬村)、「銀杏国」(東京・八王子市)が生まれるなど、"独立"ブームはとどまるところを知らない勢いだ。

(「読売新聞」一一月二九日)

三面記事
箸の持ち方は六パターン

「日本の祭りを守る会」が昭和五八年、全国六〇〇〇人を対象に箸の持ち方に対する調査を行った。祭りのお供えなど箸と祭りは深いかかわりがあるが、会員の中から箸の使い方がバラバラという指摘があったのが、調査の理由。

▲8月21日、茨城県勝田市で長さ200メートルのハンバーグが作られた。

共同通信社

その結果、日本人の箸の持ち方にはくちばし型(標準型)、平行型(スプーン型)、交叉型(クロス型)、つかみ型(握り箸)と、左手箸、特殊箸の六パターンに分類されることがわかった。昔は標準箸、握り箸、左手箸の三種類と言われていたから細分化されたわけで、特に握り箸は幼児の持ち方と言われていたのに、今回の調査ではおとなにも見られた。こんなにバラバラになったのは日本の食卓が洋食化し、ナイフ、フォークを使うことが多くなったこと、「箸使い、みんな下手なら恥ずかしくない」とばかりに、箸の持ち方やしつけをやかましく言わなくなったためだという。

(本田總一郎『箸の本』)

はやり歌

えとせとらレコード博物館提供(2点とも)

▲不倫をにおわせる歌がミリオンセラーに。歌手は大川栄策、歌手生活15年目のヒットだった。

さざんかの宿

作詞 吉岡 治　作曲 市川昭介　編曲 竹村次郎

くもりガラスを　手で拭いて
あなたの明日が　見えますか
愛しても愛しても　あゝ他人の妻
赤く咲いても　冬の花
咲いてさびしい　さざんかの宿

ぬいた指輪の　罪のあと
かんでください　思いきり
燃えたって燃えたって　あゝ他人の妻
運命かなしい　冬の花
明日はいらない　さざんかの宿

せめて朝まで　腕の中
夢を見させて　くれますか
つくしてもつくしても　あゝ他人の妻
ふたり咲いても　冬の花
春はいつくる　さざんかの宿

矢切の渡し

作詞 石本美由起　作曲 船村 徹　編曲 薗 広昭

「つれて逃げてよ……」
「ついておいでよ……」
夕ぐれの雨が降る　矢切の渡し
親のこころに　そむいてまでも
恋に生きたい　二人です

「見すてないでね……」
「捨てはしないよ……」
北風が泣いて吹く　矢切の渡し
噂かなしい　柴又すてて
舟にまかせる　さだめです

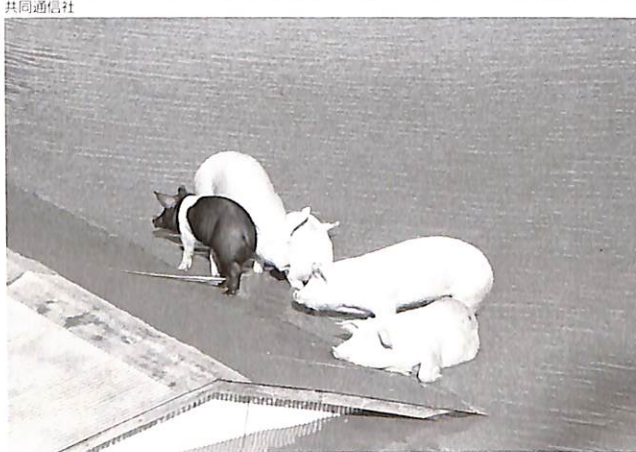
「どこへ行くのよ……」
「知らぬ土地だよ……」
揺れながら艪が咽ぶ　矢切の渡し
息を殺して　身を寄せながら
明日へ漕ぎだす　別れです

▲いろいろな歌手のレコードが発売されたが、細川たかしが歌ったものがミリオンセラーに。

動物
小さすぎる檻は動物虐待 木下サーカスが興行延期

〔香港発〕木下サーカスの木下光宣社長が、香港の動物保護団体から動物虐待で訴えられ、正式裁判にかけられることになった。象、熊、ライオン、チンパンジーなどの檻が小さすぎ、「動物たちに必要以上の苦痛を与えた」というのが理由。同社長は裁判所に五〇〇〇香港ドル(約一万円)の保釈金を払って身柄拘束をまぬがれたが、サーカスの興行はより大きな檻を作り、香港政庁が確認するまで延期された。木下社長は「今まで世界中で興行してきたが、こんなことを言われたのは初めて」と語っている。

(「サンケイスポーツ」八月一〇日)

共同通信社

◀九月二九日、集中豪雨で長野県飯山市を流れる千曲川の堤防が決壊、豚七〇〇頭が溺死した。

データ
ソープ嬢の身上調査 地元"就職"組の理由

トルコ風呂(現・ソープランド)の専門誌がこの年、この世界(ホテトルを含む)に入った女性の身上調査を行った。対象は百数十人だったが、確認の取れた女性は四三人。内訳は北海道の一〇人がトップで、次いで東京の八人。愛知、広島、福岡、佐賀が各二人ずつで、残りはバラバラ。しかも北海道の一〇人のうち八人が、札幌ススキノの店に就職していた。これについて編集部では「普通、トルコ嬢になる女性は地元の知り合いに知られることをおそれて、遠く離れたところへ行くが、北海道の場合、昔から地元のススキノでテクニックをおぼえてから、本州へ出稼ぎに行くと言われていた。そのことがデータによって確かめられた」と分析している

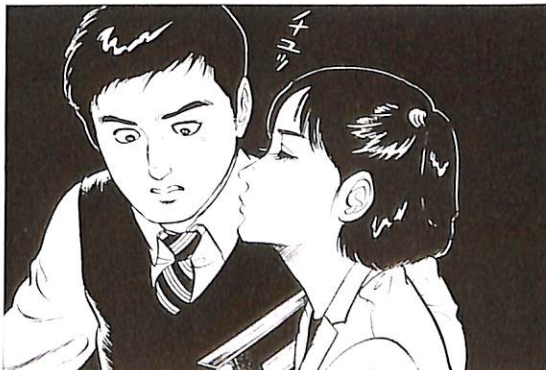
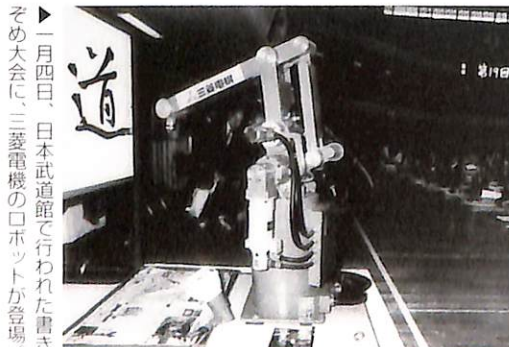
(「ミューザー」四、五月合併号)

この年の初もの
東京・六本木に開店 アラブ料理の専門店

●**バイオ口紅**　鐘紡が世界初のバイオ口紅「レディ八〇」発売。口紅の成分である紫根をバイオ技術で培養したもので、一本三〇〇〇円。

●**カウンター・キッチン**　奈良県天理市に建設された公団住宅に初めて設置。

●**薬草ワイン**　山梨薬研でドクダミから作ったワイン発売。七二〇ミリリットル四〇〇〇円。

●**ペン型補聴器**　ふだんはポケットに挿しておけるもので、松下通信工業が開発。四万八〇〇〇円。

▶一月四日、日本武道館で行われた書きぞめ大会に、三菱電機のロボットが登場。

「貧困」と「女性の苦しみ」に世界中が共鳴
視聴率は最高時六二・九パーセント！
ドラマ「おしん」人気と小林綾子ちゃん

NHK朝の連続テレビ小説「おしん」が放映されたのは、この年の四月四日から一年間。平均視聴率五二・六パーセントという驚異的な記録を残した番組は、その後、海外四九ヵ国で再放映され大きな反響を巻き起こした。世界の人々は、一体、「おしん」に何を見たのか。

「お化け番組」と呼ばれ〝大根メシ〟が流行語に

橋田寿賀子（五七）脚本のこのドラマは、明治時代に山形の寒村に生まれた主人公が、一家の口減らしのため六歳で奉公に出され、艱難辛苦に耐えながら明治、大正、昭和の激動の時代を生き抜く姿を描いた女の一代記。ヒロイン「おしん」の子ども時代を小林綾子（一〇）が、成人になってからは田中裕子（二七）、そして熟年期を乙羽信子（五八）の三人が演じた。

視聴者は、幼い娘が「大根メシ」で空腹を満たし、奉公先でのイジメをひたすら〝辛抱〟するけなげさに涙を誘われ、のっけからテレビにクギ付けとなった。とりわけ話題を呼んだのは小林綾子の「少女編」だったが、主役が田中裕子に代わってからもたび重なる不幸や悲しみ、「おしん」をネチネチといびる姑の登場などヤマ場はつきず、視聴率はウナギのぼり。最高時六二・九パーセント、平均でも五二・六パーセントとシリーズ物のドラマとしては異例の高視聴率を記録し、「お化け番組」と呼ばれた。「放送時間帯は水道使用量が激減」「テレビに夢中な家人のスキをねらって忍びこむ『おしんドロ』が急増」など、ウソかホントかわからないような噂まで飛びかうありさまだった。

子ども時代を演じて人気の火付け役となった小林綾子（現・二五歳）は、当時をこう振り返る。

「オーディションの最終段階で台本を見せられ、その分厚さ、台詞の多さに驚きました。初めての大役。でも、昔の話なので、母などから貧しかった時代の様子を聞いたりして、『おしん』になりきろうと一生懸命でした。それにしても、反響の大きさと、身のまわりの変化にはうろたえましたね。今にしてみれば私が演じた『少女編』は三六回、わずか六週間の放送だったのですが……」

一方、「おしん」人気のあやかり商品も続々と登場した。「おしんこけし」「おしんまんじゅう」「おしん酒」「おしんつま楊枝」は言うにおよばず、そのほか何でもありの状況。旅行業者がゆかりの地を飛行機と列車で結ぶ「おしんツアー」を組めば、最上川舟下り「芭蕉ライン」は「おしんライン」に改名、国鉄（現・JR）酒田駅前には子守姿の「おしんの銅像」が出現し、日本ビクターから金沢明子の歌う「おしんの子守唄」なるレコードが発売され、一一月末までに六万枚を売るヒットとなった。

あげくのはては、超党派の国会議員一〇人が「おしん後援会」を結成（七月）。この時ばかりはさすがに世間の目も冷たかったが、ほとんどビョーキの〝おしんドローム（症候群）〟に、作者の橋田寿賀子ですら「一つのファッショ。日本人の国民性ってこわい」（「朝日新聞」昭和五八年七月一三日夕刊）ともらすほどだった。

二九七話続いた番組は、翌五九年三月三〇日に終了。〝おしん狂騒曲〟もようやく終息かと思われた。ところが、〝おしんドローム〟はその後、世界中に伝染し始める。

五大陸を制覇した「おしん」の普遍性

「おしん」の海外進出は、提供窓口のNHKインターナショナルによれば、在外邦人向けをのぞけば昭和五九年のシンガ

共同通信社

▶少女時代を好演した小林綾子と、後を引き継いだ田中裕子。
◀五月一七日、瀬戸山三男文相に招かれ、文部省を訪れる。

報知新聞社

▶貧しい東北の少女になりきった可憐な姿が、高視聴率を獲得。

NHK提供

詩人ブローティガンが参列した寺山修司の葬儀

佐伯　修

この年五月九日の午後、詩人リチャード・ブローティガン（一九三五～八四）は、一キロほどの道のりを徒歩で、東京の青山斎場へ向かっていた。

「モンタナでピーター・フォンダの細君ベッキーにもらった上着」の「右袖にここ東京で椎名たか子に借りた黒い喪章」といういでたちの彼は、五日前の五月四日に世を去った、歌人・劇作家、寺山修司の葬儀に向かうところである。生まれ育ったアメリカでも、葬式には行ったことがない彼にとって、それは「初めての葬式」だった。

『アメリカの鱒釣り』などの小説でも知られる彼は、頻繁にアメリカと日本の間を往き来していた。そんな〝日本通い〟からは、『ソンブレロ落下す』『東京モンタナ急行』といった小説や、『六月三〇日、六月三〇日』（邦題『東京日記』）という詩集が生まれている。そして、ここに引用する寺山への追悼詩「夜に流れる河」（谷川俊太郎訳）もまた、葬儀への参列後、東京で書かれた。

一般に、アメリカ西海岸の「ヒッピー文化」の〝申し子〟と位置づけられているブローティガンだが、その詩や小説に流れるものは、しみじみとした寂寥感や哀愁だ。それは、「ヒッピー文化」という先入観を取り去って見ると、旧来の日本人が持っていた感傷的な情緒に、驚くほど近いものなのかもしれない。なお、彼は大好きだった叔父を、戦中、ミッドウェーで日本軍の攻撃により受けた傷がもとで失っている。

さて、葬儀会場に着いた詩人には、長蛇をなす参列者たちの黒い喪服の列が、まるで「夜に流れる河」のように見えた。

「照りつける陽射の下で　夜に流れる河のように動いてゆく　沢山の人々の沈黙　こんなに静かな場所は　初めてだ」

「あんまり静かだったので」ふと詩人は、地面を這う一匹の蟻に気をとられる。蟻は、参列者の一人の男の右足の靴の、「踵と底の間」をくぐってゆく。蟻から見たら「黒い葬式の靴は　蟻の上にかかる　黒い橋のよう」だろう。また、もし行列が急に動けば「あの黒蟻は自分の葬式に　参列することになるだろう」。

行列は、さっきから停滞したままである。

「だが蟻にとって　左の靴の下へはいこむまでの　男の脚の距離は　はるかなものだった　そして未来は　その蟻の旅のようにもろくたよりない」

自分の銃で頭を撃ち抜いた詩人が、モンタナの一軒家で発見されるのは、翌年だ。

「それから行列は自然に　動き出した　斎場の中へと　夜に流れる河のように」

アメリカンフォト・ライブラリー

▶職業を転々とした後、一九六四年処女作を発表。

ポールが最初。その後買い付けが殺到し、平成七年までに、南米やアフリカ諸国を含め四九ヵ国に進出している。「こんな番組は、後にも先にも『おしん』だけです」と、NHK広報室。各国の熱狂ぶりも、ベルギーでは修道院の尼さんがお祈りの時間を変えた、エジプトでは娘に「オシン」という名前をつける親が現れた、カナダやイランでは「おしん」のために現金やコメの寄付があった……など、エピソードにはこと欠かない。

それにしても、なぜ「おしん」が世界中でウケたのか。東京・杉並区浜田山でブティック「タイム」を経営しているネパール出身の男性、ビゲンダラ・マン・シン・プラダンさん（現・三八歳）は、母国での人気をこう説明する。

「山岳地方の貧しい民族の子どもは今でも一〇歳くらいで奉公に出るので、『おしん』の世界は他人事ではないのです。私の姉も『とってもよくわかる、身につまされる』と感動していました」

平成三年に東京で開催された国際シンポジウム「世界は〝おしん〟をどうみたか」でも、「嫁と姑の関係はタイでも同じ」「多くの女性は『おしん』の境遇を見て自分の過去を思い出した（中国）」「日本とベルギーの歴史の推移に大きな違いはないことがわかった」などの反響が紹介された。二〇世紀の地球上で、「貧困」と「女性の苦しみ」は国や文化の違いを超えて共感を得たのだ。

同時に、「おしん」は、経済大国日本にも貧困の時代があったことを印象づけ、途上国の人々を勇気づける効果もあげた。

視聴率の高さに加え、国際理解への貢献というオマケつきで、テレビ史に残る金字塔を打ち立てたのである。

NHK提供

▶収録に使われたセットで、脚本家・橋田寿賀子と。

往きて還らぬ

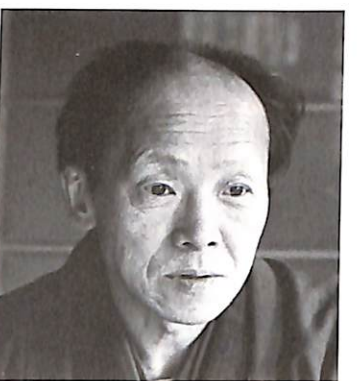
▲1月21日　里見弴(94)
小説家。有島武郎・生馬の末弟。短篇小説の名手で、代表作に『多情仏心』『善心悪心』など。昭和34年文化勲章受章。

▲2月3日　田村秋子(77)
新劇の名女優で、昭和7年夫の友田恭助と築地座結成。情熱的な演技が、杉村春子など後進に影響を与えた。

▲2月25日　T・ウィリアムズ(71)
米の劇作家。1944年「ガラスの動物園」で名声を博し、1947年「欲望という名の電車」でピュリッツァー賞受賞。

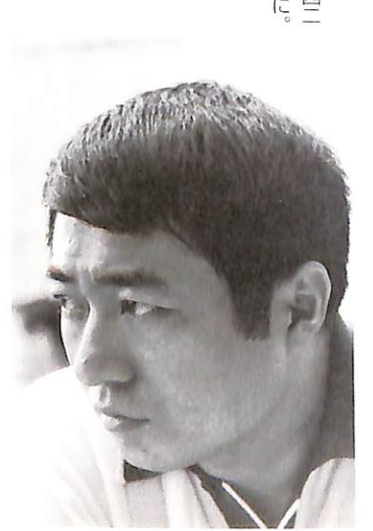
▲3月1日　小林秀雄(80)
文芸評論家。昭和4年「様々なる意匠」で認められ、日本における本格的な近代批評を創始。昭和42年文化勲章受章。

▲3月31日　片岡千恵蔵(79)
映画俳優。歌舞伎から映画に転向。戦後東映の大スターとして、時代劇や「多羅尾伴内」シリーズに出演した。

▲4月13日　2代目中村鴈治郎(81)
歌舞伎俳優。昭和22年2代目を襲名。関西歌舞伎の重鎮で映画にも出演。当たり役に「曽根崎心中」の徳兵衛など。

▲3月31日　尾崎一雄(83)
小説家。昭和12年『暢気眼鏡』で芥川賞受賞。庶民的ユーモアにあふれた作品で人気を集めた。53年文化勲章受章。

▲4月19日　中原淳一(70)
挿絵画家。20歳から少女雑誌を舞台に活躍。戦後は雑誌「それいゆ」「ひまわり」を創刊、衣裳デザイナーでも有名。

▼5月4日　寺山修司(47)
歌人・劇作家。前衛歌人としてデビュー後、昭和四二年劇団「天井桟敷」を結成。アングラ演劇の旗手に。

斎藤康一

▲6月8日　羽仁五郎(82)
歴史学者。わが国で初めてマルクス主義史学の体系を樹立。著書『都市の論理』がベストセラーに。羽仁進は息子。

▲6月10日　廖承志(74)
中国の政治家。東京で生まれ、1928年共産党入党。1964年中日友好協会会長就任後、20年にわたり日中の橋渡しを。

オリオン・プレス

◀7月29日　ルイス・ブニュエル(83)
スペインの映画監督。一九二八年「アンダルシアの犬」で注目され、後に「忘れられた人々」「昼顔」を発表。

▲10月3日　花登筺(55)
劇作家。大阪商人の〝ど根性もの〟が大ヒット。代表作に「細うで繁昌記」「どてらい男」など。女優・星由里子は妻。

週刊 YEAR BOOK 日録20世紀

第56号 3月24日(火)発売 定価560円 毎週火曜日発売 講談社 本体533円

1984［昭和59年］

●特集
極寒の北米マッキンリー峰に散った！冒険家・植村直己の「栄光」と「夢」／衝撃の「グリコ・森永事件」「かい人21面相」は闇に消えた！／"宮崎駿アニメ"の記念碑「風の谷のナウシカ」大ヒット！／異常気象と内戦がもたらした悲劇「今世紀最悪」アフリカの飢餓！

●ニュース・ファイル
フォト＋日録で再現する366日…命綱なしの宇宙遊泳、初成功（2月7日）／日劇ミュージックホール閉幕（3月24日）／初の第三セクター、三陸鉄道開業（4月1日）／カール・ルイス、ロス五輪で四冠（7月28日）／連続殺人の広田雅晴逮捕（9月5日）／I・ガンジー首相暗殺（10月31日）／シンボリルドルフ四冠（12月23日）

●人物クローズアップ
稲盛和夫の"幸福"哲学と第二電電

●決定的瞬間
インド、ボーパールで有毒ガス流出！

●美の出会い
安野光雅、国際アンデルセン賞受賞！

●女たちの肖像…「女三四郎」山口香の金メダル／勝者・敗者…ロス五輪体操、具志堅優勝への"呪文"／証言・あの日この日…ビートたけし、岸田今日子／20世紀博物館…ノリタケ・ミュージアム（愛知）／「現場」を歩く…斐川町荒神谷遺跡と出雲の古代／外から見たNIPPON…タイのヒット曲「メイド・イン・ジャパン」

●ベストセラー…『金魂巻』／スターと名場面…「お葬式」「麻雀放浪記」／モノ語り'84…「禁煙パイポ」「システム手帳」

ミニ事典
1983年のキーワード

「不沈空母」発言
タカ派的性格を鮮明に打ち出した中曽根康弘首相が、日本の防衛に関し一月一九日、米紙のインタビューを受けて発言。「日本列島を不沈空母化（軍備強化）してソ連の爆撃機侵入を阻止し、三海峡封鎖作戦によりソ連海軍を日本海峡に封じこめる」などという内容。この発言の裏には自国と近隣の防衛について、日本は応分の負担をすべきだという米国の強い意向が反映していた。

老人保健法
無料だった七〇歳以上の老人医療費を一部有料化、外来で月額四〇〇円にするなどを内容とした法律。二月一日施行。昭和四八年から始まった老人医療費無料化が、老人の入院増加、ベッド・看護婦不足などを引き起こし、財政を著しく圧迫したこと、高齢化社会の到来も近いことなどが実施の理由だった。

放射性廃棄物の海洋投棄
核燃料再処理工場で生じる強い放射能を持つ高レベル廃棄物は、一九七五年発効のロンドン条約で海洋投棄が禁じられた。問題は原発で日々生み出される使用済みの作業着や機器など低レベル廃棄物。二月一四日のロンドン条約締約国会議が安全が確認されるまでの一時停止を決議、太平洋への深海投棄を計画していた日本に衝撃を与えた。この頃日本では年間にドラム缶四万～五万本分の低レベル廃棄物が生じると言われた。

共同通信社
▲1981年8月、日本の核投棄に反対するマリアナ同盟がグアムで抗議運動を展開。投棄停止決議も、太平洋諸国の強い反対から実現した。

ME協定
ロボットなど、マイクロエレクトロニクス（ME）機器を使った先端技術導入に関しての労使間の協定。ロボット協定とも言われる。三月一日、日産自動車と全日産自動車労組が、日本で初めてME協定「新技術導入に関する覚書」に調印した。ME機器導入計画は事前に告知し、導入による解雇や労働条件の切り下げは行わないことを基本とした。

シーレーン防衛研究
有事における日本の周辺一〇〇〇カイリの海上交通路確保を、日米が共同で研究するもの。日米防衛協力小委員会が三月一二日、着手に合意。しかし、目的について両国間に大きなズレがあり、日本側が国民の生活保障のための輸入物資の航路確保を主眼としたのに対し、米側は対ソ戦での海上補給路確保を重点とし、日本に北太平洋の防衛責任を担わせようとしたため、進展はなかった。

勝手連
四月一〇日の統一地方選挙で、横路孝弘の北海道知事当選を成功させた市民団体。「横路孝弘と勝手に連帯する若者連合」の略。前年一月、北海道在住の元日大全共闘書記長・田村正敏（三六）らが「選挙をお祭りにしちゃおう」と面白半分に結成すると、全道に学生勝手連、運ちゃん勝手連など約四五もの勝手連ができた。横路支持だけで統一した規約や方針はなく、党派にとらわれない文字どおり「勝手」な活動が、新しい市民運動として注目された。

建物区分所有法
マンションなどのように、ひとつの建物をいくつかに区分し、独立して利用する場合の住宅の所有・管理などについて定めた法律。四月二六日、改正案が衆院で可決、翌年一月一日施行された。改正前は全員一致が原則だったが、共同住宅の急増に対応して多数決原理を採用することで、維持・管理や利害関係の調整をスムーズにできるようにした。

対癌一〇ヵ年総合戦略
中曽根首相の提唱で、癌（がん）対策関係閣僚会議が六月七日に決定した、一〇ヵ年をめどに癌の本態を解明するとした戦略。癌発生のメカニズムの研究など研究課題の重点設定、若手研究者の活用、日米を中心とした国際協力の推進などを柱とした。当初予算は約一五〇億円。一〇年後、癌克服新一〇ヵ年戦略と名称を変更、癌予防研究など新たな重点研究課題を加えて、今日にいたっている。

比例代表制
共同通信社
▲比例代表制選挙でミニ政党が善戦。サラリーマン新党は青木茂代表（右）ら2議席獲得。

六月二六日の参院選全国区で初採用された選挙方式。選挙費用の削減や、有権者の意思を正確に反映させることがねらい。有権者は投票用紙に政党名を記入、得票率に比例して各政党の議席数を決め、政党が順位をつけた候補者を上から議席数分だけ当選者とした。ミニ政党に有利などの利点はあるが、名簿上位への記載が当落を決めるため、党への忠誠を強いられるなどの問題も残った。

新薬スパイ事件
国立予防衛生研究所技官と製薬会社社員が、共謀して他社の新薬申請資料を盗み出した事件。九月一三日、技官と藤沢薬品の課長ら三人が逮捕され、組織ぐるみの犯罪であることが明らかになった。一〇月までに逮捕者は一四人に拡大、中には中央薬事審議会委員、医師会事務職員も含まれていた。医薬品メーカーの過当競争や、薬漬けと言われる日本の医療体制が、事件の背景にあった。

朝日新聞社
▲国立予防衛生研を舞台にした新薬スパイ事件で、9月17日、藤沢薬品の幹部が陳謝した。

第三セクター
第一セクター（国や地方自治体）と第二セクター（民間企業）が、地域開発や都市作りを目的に、共同出資して設立する事業体。一二月二二日、三陸鉄道盛（さかり）―釜石間の敷設工事が完了。公共事業に、民間の資金・能力を導入する第三セクター方式の鉄道として注目され、その後各地でこの方式が採用された。

週刊YEAR BOOK／日録20世紀 1983

CONTENTS

●編集
講談社総合編纂局
アート・ディレクター 山口至剛
表紙デザイン 山口至剛デザイン室（茂村巨利）＋渡邉裕
本文レイアウト デザインオフィス八起き
編集協力 有エービーシープレス 株カマル社 株コミュニケーションハウス・ケースリー シド・プロ 有マックス 有マライカ
飯田守 小原伸夫 鍵和田良輔 小松邦宏 張替政展 藤森雅弘 結城順一 吉田忠正

●写真協力
石川文洋 大竹静市郎 桑原史成 斎藤康一 但馬一憲 野町和嘉 原一男 弘兼憲史 松本敏之 三上貞幸 山之上雅信
ARCHIVE PHOTOS 朝日新聞社 アメリカンフォト・ライブラリー インペリアル・プレス NHK AP オリオン・プレス 共同通信社 サンテレフォト 時事通信社 新建築写真部 日刊スポーツ PPS 報知新聞社 北海道新聞社 毎日新聞社 読売新聞社 ロイター WWP 大島渚プロダクション オリエンタルランド 疾走プロダクション 東宝 えとせとらレコード博物館 NASA

週刊 YEAR BOOK
日録20世紀
1983
●東京ディズニーランド誕生！ 3月31日号
第2巻第12号 通巻55号
編集人 近藤達士 発行所 株式会社講談社 郵便番号112-8001 東京都文京区音羽2-12-21
定価560円

雑誌 23715-3/31
Ⓛ 2001 1 1
T1123715030564

印刷 凸版印刷株式会社 製本 大村製本株式会社